

DLP Cinema® プロジェクター

NEC

取扱説明書

DLP Cinema® プロジェクター

NC1000C

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

型名
NP-NC1000C

はじめに

このたびは、NC1000C（以降、「NC1000C 本体」を「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本書では製品名称を次のように記載しています。製品により内容が異なる部分については、本文中に製品名を記載しています。

- ・ NP-90MS02 「メディアブロック」または「IMB」

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

- ・ DLP (Digital Light Processing)、DLP Cinema は、Texas Instruments Incorporated の登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他、取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本書に載せているイラストや表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社のホームページの「about GPL&LGPL」フォルダ内の readme.pdf をご参照ください。



ご注意




- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例		△ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
		⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
		● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告

設置および輸送について



- ・ プロジェクターの設置および輸送については、販売店にご相談ください。お客様による設置および輸送は絶対におやめください。けがの原因となります。

天吊りの設置について



- ・ 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

電源コードの取り付けについて



- ・ 本機に電源コードは添付していません。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用してください。電源コードの選定および手配は、販売店にご依頼ください。
- ・ 電源コードの取り付けについては、「2-2. 電源コードを接続する」(▶21 ページ)をご覧ください。

決められた電圧以外で使用しない



- ・ 以下に示す電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ AC100～130V 単相 50/60Hz
 - ・ AC200～240V 単相 50/60Hz

電源コードの取り扱いは大切に



- ・ 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ コードの上に重い物をのせない。
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしない。
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない。
 - ・ コードを傷つけない、加工しない。
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
 - ・ コードを加熱しない。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- ・ 煙が出ている、変なおいや音がする場合、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- ・ 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない。
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない。
 - ・ プロジェクターの上に花瓶、植木鉢を置かない。
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない。
- 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。



警告

次のような所では使用しない



- ・ 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- ・ プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- ・ プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

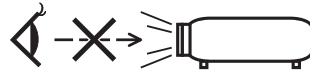
- ・ ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1時間おいてから行ってください。
動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
ランプ交換は「5-3. ランプとエアフィルターの交換」(▶ 56 ページ) をご覧ください。

プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- ・ プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。
- ・ プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



雷が鳴りだしたら、本体に触れない



- ・ 雷が鳴りだしたら、本体に触れないでください。感電の原因となります。

動作中にレンズをふさがない



- ・ 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり、変形したり、溶けたりする原因となります。
- ・ 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- ・ プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。





注意

機器のアースは確実に接続してください



- ・ 機器の安全確保のため、機器のアースは確実に接続してご使用ください。

通風孔をふさがない



- ・ プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。
- ・ プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間をあけてください。目安として壁から最低30cm以上、特に背面の排気口前は70cm以上、ランプ側排気口の前は50cm以上の空間をあけてください。

ぬれた手で本体に触れない



ぬれた手は危険

- ・ ぬれた手で本体や電源コードに触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の移動について



電源プラグをコンセントから抜く

- ・ 移動する場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、機器間の接続ケーブルおよびレンズユニットを外したことを確認のうえ、行ってください。
- ・ プロジェクターを移動するときは4人以上で行い、必ず本体底面の手掛けを持って運んでください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- ・ 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

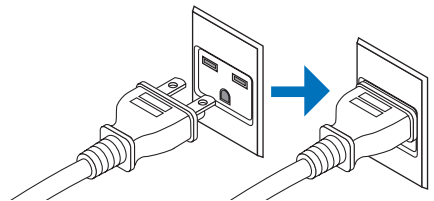
- ・ お手入れの際は、安全のため本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- ・ 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になるため、やけどの原因となることがあります。

アース端子を接続する



- ・ 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。また、接続の際に、2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。詳細は25ページをご覧ください。



注意

点検・工事について



内部の清掃は販売店に依頼する

- ・ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する



- ・ プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときはブレーカの設置を販売店にご依頼ください。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

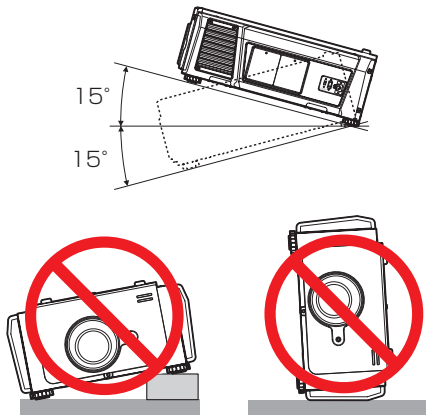


- ・ 本機のLANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

お願い

■性能確保のため、次の点にご留意ください。

- ・ 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- ・ 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- ・ 本機を長時間連続して使用される場合
たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
- ・ 本機を前後方向に傾けて使用する場合は、水平方向（ $\pm 15^\circ$ ）の範囲で使用してください。範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。また、天吊り設置を行う場合は、冷却ファンの設定が必要です。あらかじめ販売店にご相談ください。



- ・ 本機を高地で使用する場合
標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、冷却ファンの設定が必要です。あらかじめ販売店にご相談ください。
- ・ 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、内部部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ・ 20A を超えるブレーカが付いているコンセントに本機を接続することをおすすめします。
- ・ スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。

- ・ スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- ・ プロジェクターの移動について
4 人以上で、必ず本体底面の手掛けを持って運んでください。その際、レンズユニットはプロジェクター本体から取り外してください。
また、プロジェクターに強い衝撃を与えないでください。
- ・ 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
また、本機を使用されないときは、レンズに添付のレンズキャップをかぶせておいてください。

■ランプ取り扱い上の注意

- ・ 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- ・ プロジェクターの光源には、内部圧力の高いランプを使用しています。
ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
光源に使われているランプの決められた使用時間を超えると、液晶画面に「Lamp1 Over-Time」または「Lamp2 OverTime」と表示されます。このメッセージが表示された場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ・ ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。動作中は、排気口のそばに近付かないでください。
- ・ ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、こすったりせずに流水で洗い流し、すみやかに医師にご相談ください。

お願い

- ・ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理については、必ず販売店に依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

■ AC 電源を遮断する際の注意

以下のような場合は本体への AC 電源の供給を遮断しないでください。

機器が故障するおそれがあります。

- ・ 投写中
- ・ ランプ消灯後のクーリング中（ファンの回転中は、< POWER > ボタンのインジケータが緑色で点滅して、液晶画面に「Cooling...」と表示されます。ファンは 90 秒間回転します。）

■ 本体の廃棄について

本体を廃棄する場合には、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

■ ランプの廃棄について

ランプには水銀が含まれています。ランプを廃棄する場合には、廃棄物処理法等に則り適正な処理を行ってください。

■ 有線LAN に関するご注意

本機の有線LAN端子は公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため有線LAN端子を公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

目次

はじめに	2
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください ...	3
1. 添付品や名称を確認する	11
1-1. 特長	11
1-2. 添付品の確認	13
1-3. 本体各部の名称	14
2. 設置と接続	20
2-1. 設置と接続の流れ	20
2-2. 電源コードを接続する	21
2-3. 映像入力端子と接続する	26
2-4. 各種コントロール端子と接続する	26
3. 映像を投写する（基本操作）	27
3-1. 映像を投写する流れ	27
3-2. 本機の電源を入れる	28
3-3. 入力信号のタイトルを選択する	31
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する	32
3-5. 誤操作を防止する	37
3-6. 本機の電源を入れた状態でランプの ON/OFF をする	38
3-7. 本機の電源を切る	39
4. 調整メニュー	41
4-1. 調整メニューの基本操作	41
4-2. 調整メニュー一覧	46
4-3. Title Select	47
4-4. Configuration	48
4-5. Title Setup	51
4-6. Information	51
5. 本体のお手入れ	55
5-1. キャビネットの清掃	55
5-2. レンズの清掃	55
5-3. ランプとエアフィルターの交換	56
6. 付 録	68
6-1. 故障かな？と思ったら	68
6-2. インジケータ表示一覧	69
6-3. HTTP を使用したブラウザによる操作	72
6-4. ログファイルの書き出し (Save Information)	74
6-5. 外観図	77
6-6. 仕様	78
6-7. 電源コード	79
6-8. 端子のピン配列と機能	81
6-9. 関連商品一覧	88
6-10. 索引	89

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

● DLP Cinema® プロジェクター

当社が培ってきた先端映像技術を駆使し、本機は米国業界団体 Digital Cinema Initiatives (DCI) の定める厳格な上映規格に適合しています。また、3D 投写やハイフレームレート (HFR) にも対応しています。

● 小型・軽量化により、設置の省スペース化・自由度の向上を両立

コンパクトな 0.69" DLP Cinema チップの採用により、寸法は 621mm (幅) × 798mm (奥行き) × 314mm (高さ)、質量は約 44 kg となり、小型・軽量化を実現しました。

また、外部排気ダクトへの接続が不要なことや床置き・天吊りの両方の設置方法に対応するなど、設置の省スペース化と自由度の向上を両立しています。様々な設置方法に対応するため、本機には別売のオプションレンズが多種用意されています(本機の工場出荷時はレンズが装着されていません)。

● ユニット単位でのランプ交換方式により、メンテナンス時間を短縮

ランプはユニット単位で交換できるので、交換作業を容易にするとともに、メンテナンス時間を大幅に短縮します。また、高圧水銀ランプの採用により、消費電力を抑えて運用できます。

2 灯式のランプシステム採用により、片方のランプが消灯しても、もう片方のランプにより、輝度は低下しますが投写を継続できます(片方のランプのみで使用した場合には、DCI 規格に適合しません)。

● 使い勝手を重視した機能を搭載

(1) ワンタッチで調整した設定を使用できるレンズメモリ機能・ライトメモリ機能を搭載

入力信号ごとにレンズのズーム位置やシフト位置を保存できるレンズメモリ機能と、明るさの設定を保存できるライトメモリ機能を搭載しています。画面サイズや明るさの設定が異なる入力信号を複数上映する場合でも信号を選択するだけで、あらかじめ調整した設定を使用して投写できます(レンズメモリ機能対応レンズについては、「6-9. 関連商品一覧」(88 ページ)をご覧ください)。

(2) よく使うタイトルをプリセットボタンに登録可能

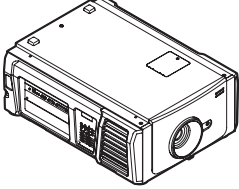
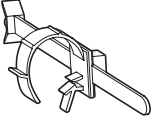


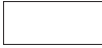
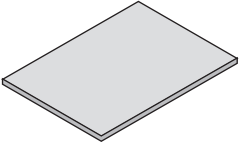
登録したタイトル(入力信号)を簡単に選択できるように 16 個のプリセットボタンを搭載しました。本機は最大 100 件のタイトルを登録できます。100 件のうち任意の 16 タイトルをプリセットボタンに割り当てることができます。

1. 添付品や名称を確認する

- (3) パソコンから、ネットワーク経由でプロジェクターの操作や設定が可能
当社が配布しているソフトウェア“Digital Cinema Communicator (DCC) for S2”を使用して、パソコンからネットワーク経由でプロジェクターの操作や設定をすることができます。

1-2. 添付品の確認

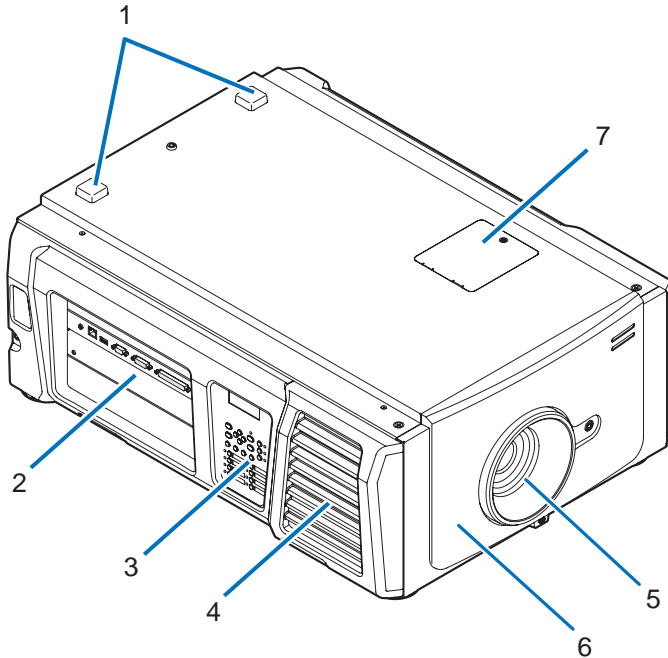
添付品の内容をご確認ください。

<input type="checkbox"/> プロジェクター本体(本機)	<input type="checkbox"/> 電源コードストッパー
	
<input type="checkbox"/> 防塵用スポンジ	<input type="checkbox"/> ダミー金具
<input type="checkbox"/> サービスドア用キー 2個	
	<input type="checkbox"/> 保証書
<input type="checkbox"/> Important Information	
	

参考 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

1-3-1. 本体前面



1 ステータスインジケータ

本機の状態を表示します。正常に動作しているときは緑色またはオレンジ色で点灯/点滅します。異常がある場合は赤色で点灯/点滅します。異常の場合は、液晶表示画面の表示内容を確認してください (☞ 71 ページ)。

2 接続端子部

各種映像信号のケーブルなどを接続します (☞ 17 ページ)。

別売りのオプションボードを装着することにより、信号入力端子を拡張できます。別売のオプション製品については、お買い上げの販売店にご相談ください。

3 本体操作部

プロジェクターの電源の入/切や、タイトル選択、投写した画面の各種調整を行います (☞ 18 ページ)。

4 吸気口/エアフィルター

プロジェクター内部の温度を下げるための外気吸気口です。ふさがないようにください。

ほこりの侵入を防ぐため、吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。エアフィルターの交換については、「5-3. ランプとエアフィルターの交換」 (☞ 56 ページ) をご覧ください。

5 レンズ (別売品)

ここから映像が投写されます。レンズの取り付け、および交換については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

6 インターロック端子 (本体前面内部)

プロジェクターの安全装置の端子です。外部より制御するときに使用します。ご使用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

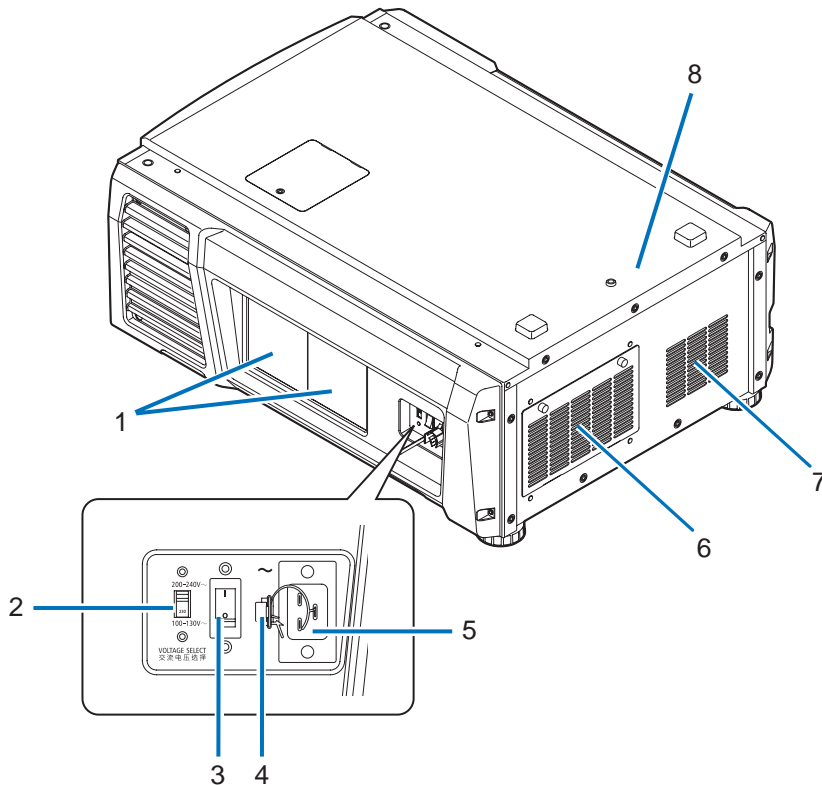
7 ノッチフィルターカバー

ノッチフィルターを交換するときに、カバーを外します。ノッチフィルターの交換については、お買い上げの販売店にご依頼ください。



動作中は吸気口および排気口をふさがないようにください。吸気および排気が不十分な場合、内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

1-3-2. 本体背面

**1 ランプカバー**

ランプ交換のときにカバーを開けます。ランプ交換については、「5-3. ランプとエアフィルターの交換」(▶ 56 ページ)をご覧ください。

2 電源電圧切替スイッチ

供給電源の電圧に応じて切り替えます (▶ 21 ページ)。

3 主電源スイッチ

AC 電源を供給した状態で、主電源スイッチを「|」(ON)にすると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

4 電源コードストッパー

本体側の電源プラグが抜け落ちることを防ぎます。

5 AC IN 端子

AC 電源コードを接続します。AC 電源コードは添付されていません。AC コードについては、販売店にご相談ください。

6 吸気口／エアフィルター

プロジェクター内部の温度を下げるための外気吸気口です。ふさがないでください。

ほこりの侵入を防ぐため、吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。エアフィルターの交換については、「5-3. ランプとエアフィルターの交換」(▶ 56 ページ)をご覧ください。

7 排気口

プロジェクター内部の熱を排気します。ふさがないでください。

8 ブザー (本体背面内部)

AC 電源の供給時やエラー発生時にブザー音が鳴ります。



- ・使用中は排気口および本体後部に触らないでください。高温になっており、やけどの原因となることがあります。
- ・動作中は吸気口および排気口をふさがないでください。吸気および排気が不十分な場合、内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

1. 添付品や名称を確認する

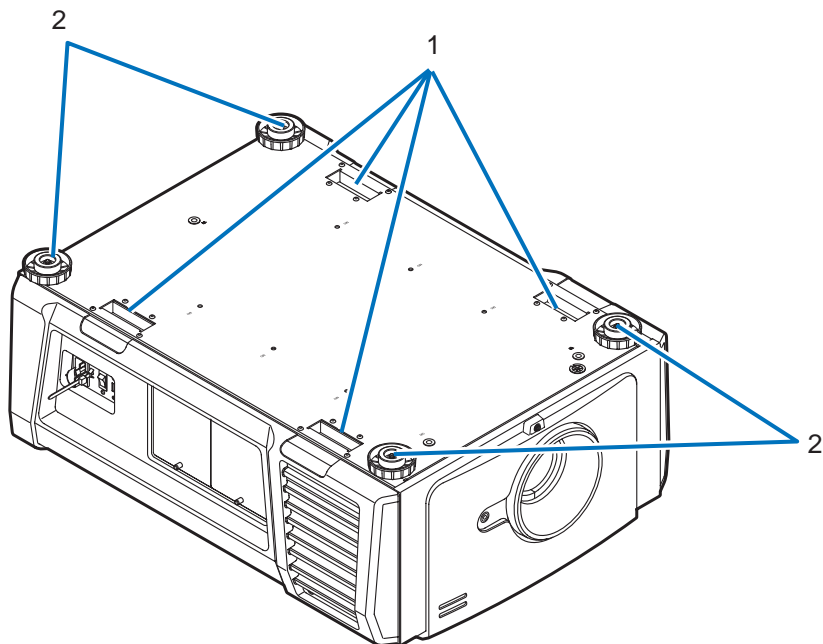


注意

ランプの交換は、電源を切り冷却ファン停止後、主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。

動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

1-3-3. 本体底面



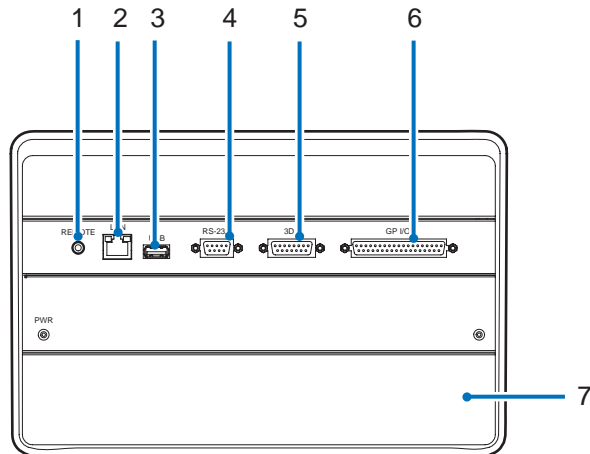
1 手掛け (4 箇所)

プロジェクターを移動用の手掛けです。

2 アジャスター (4 箇所)

通常設置の際に、プロジェクターの傾きを 4 箇所調整することができます。

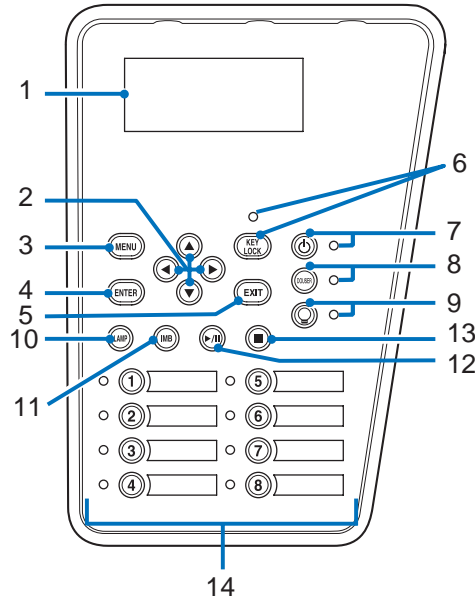
1-3-4. 接続端子部



- 1 **サービス専用端子 (REMOTE) (ステレオ・ミニ)**
サービスマンが本機を操作するときに使用します。
- 2 **LAN ポート (LAN) (RJ-45)**
映像信号用サーバとのインターフェイスとして、またはパソコンからプロジェクターをLAN 接続で制御する場合に使用します。プロジェクターとパソコンを市販のLAN ケーブル (10/100/1000Base-T) で接続します。
- 3 **USB ポート (USB) (タイプ A)**
プロジェクターのメンテナンスの際に使用します。
- 4 **PC コントロール端子 (RS-232) (D-Sub 9P)**
パソコンから RS-232C で本機を操作するときや、サービスマンがプロジェクターの設定を行うときに使用します。プロジェクターとパソコンを市販の RS-232C ストレートケーブルで接続します。
- 5 **3D 端子 (3D) (D-Sub 15P)**
本機に 3D 映像システムを接続するときに使用します (87 ページ)。
- 6 **外部コントロール端子 (GP I/O) (D-Sub 37P)**
本機を外部からコントロールするときや、本機に 3D 映像システムを接続するときに使用します (82 ページ)。
- 7 **スロット**
IMB を装着できます。IMB の装着については、お買い上げの販売店にご相談ください。IMB については、IMB の取扱説明書をご覧ください。

1. 添付品や名称を確認する

1-3-5. 本体操作部



1 液晶表示画面

プロジェクターの操作を行う際のメニューや設定値を表示します。

2 <▲/▼/◀/▶> (<UP/DOWN/LEFT/RIGHT>) ボタン

メニューを表示しているときにボタンを押すと、メニュー項目を選択できます。

3 <MENU> ボタン

各種設定・調整のメニューを表示します (▶ 46 ページ)。

4 <ENTER> ボタン

<ENTER> ボタンを押すと、選択しているメニュー項目を決定します。

5 <EXIT> ボタン

<EXIT> ボタンを押すと、1つ前のメニュー項目に戻ります。

6 <KEY LOCK> ボタン

誤操作を防ぐため、本体操作部のボタンをロック (KEY LOCK) します。KEY LOCK が有効な場合、本体操作部のボタンを押しても機能しません。

KEY LOCK が解除された状態で <KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押しすると、KEY LOCK が有効になります。

KEY LOCK が有効な状態で <KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押しすると、KEY LOCK が解除されます (▶ 37 ページ)。

注意 初期設定ではスタンバイ状態で 30 秒間、本体操作部を操作しないと、自動的に KEY LOCK が有効になります。
(▶ 37 ページ)

7 <POWER> ボタン

プロジェクターの電源を入/切 (スタンバイ状態) します。3 秒以上押ししてください (▶ 70 ページ)。

プロジェクターの電源を入れる際は、主電源スイッチを ON にして、スタンバイ状態にしてください (▶ 28 ページ)。

8 <DOUSER> ボタン

<DOUSER> ボタンを押すと、ダウザーの開閉を行います (▶ 70 ページ)。

9 <LAMP ON/OFF> ボタン

本機の電源が入った状態で、ランプを点灯/消灯できます。3 秒以上押ししてください (▶ 38 ページ)。

10 <LAMP> ボタン

ランプ調整メニューを表示します (▶ 35 ページ)。

11 <IMB> ボタン (今後のアップデートで対応予定)

本機に IMB が装着されているときに使用できます。

<IMB> ボタンを押すと、IMB の操作メニューを表示します。

12 <再生 / 一時停止> ボタン (今後のアップデートで対応予定)

本機に IMB が装着されているときに使用できます。

<再生 / 一時停止> ボタンを押すと、映像コンテンツを再生 / 一時停止できます。

13 <停止> ボタン (今後のアップデートで対応予定)

本機に IMB が装着されているときに使用できます。

<停止> ボタンを押すと、映像コンテンツの再生を停止できます。

14 プリセットボタン

プリセットボタンを押すと、各ボタンに割り当てられたタイトル (入力信号) を選択できます。本機は 100 件のタイトル登録 (入力信号の登録) が可能で、登録したタイトルのうち任意の 16 件をプリセットボタンに割り当てることができます。タイトルの登録、変更については販売店にご依頼ください。

プリセットボタンのインジケータは、タイトルの割り当て / 選択状態を表示します (▶ 69 ページ)。



プリセットボタンに登録したタイトルを選択する場合、次のように操作してください。

プリセットボタン 1 ~ 8 に登録したタイトルを選択する

プリセットボタンの番号に対応したボタン (<1> ~ <8> ボタン) を押します。

・ <1> ボタンを押す：プリセットボタン 1 を選択します。

・ <8> ボタンを押す：プリセットボタン 8 を選択します。

プリセットボタン 9 ~ 16 に登録したタイトルを選択する

<UP> ボタンを押しながら、プリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) を押します。

・ <UP> ボタンを押しながら <1> ボタンを押す：プリセットボタン 9 を選択します。

・ <UP> ボタンを押しながら <8> ボタンを押す：プリセットボタン 16 を選択します。

2.

設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。

●**ステップ1**

スクリーンとプロジェクターを設置する（→お買い上げの販売店にご依頼ください）

●**ステップ2**

電源コードを接続する（▶21 ページ）

●**ステップ3**

映像入力端子と接続する（▶26 ページ）

各種コントロール端子と接続する（▶26 ページ）

2-2. 電源コードを接続する

本機には電源コードは添付していません。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用してください。電源コードの選定および手配は、販売店にご依頼ください。



警告

接続する前に、この節に記載された内容をよくお読みのうえ、正しい手順で接続してください。誤った取り扱いをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

- ・電源コードを接続するときは、本機の主電源スイッチが OFF になっていることを確認し、AC 電源を遮断した状態で行ってください。
- ・機器の安全確保のため、使用する国の規格および電源電圧に適合する電源コード (79 ページ) を使用して、機器のアースを必ず接続してください。アースが接続されていないと感電の原因となります。
- ・電源コードのプラグを AC IN 端子およびコンセントに接続するときは、奥までしっかり差し込んでください。電源コードのプラグとコンセントの接続がゆるいと、プラグ部分が発熱し、やけどや事故の原因となることがあります。
- ・本機を接続する電源コンセントの電圧に合わせて、電源コードおよび本機の電源電圧を切り替えてください。選択が間違っていると、故障や火災の原因となります。

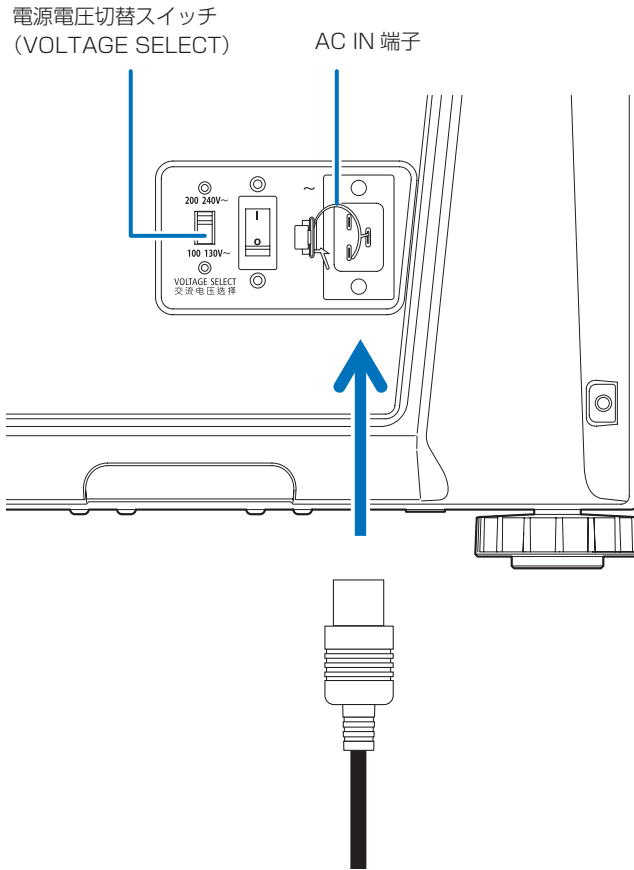
重要

- ・ AC 電源コードを外すことによって電源を遮断できるよう、コンセントはプロジェクター本体の近くに配置してください。
- ・ 本機の電源コードの取り付けは、主電源スイッチが「○ (OFF)」の状態で行ってください。主電源スイッチが「| (ON)」の状態では電源コードの取り付けを行うと、故障の原因となります。
- ・ 三相 200V の電源には接続しないでください。故障の原因となります。

2. 設置と接続

1 AC 電源コードをプロジェクターの AC IN 端子に接続する。

しっかりと奥まで差し込んでください。



2 電源電圧を選択する。

接続する電源コンセントの電源電圧に合わせた電圧に、電源電圧切替スイッチの位置を切り替えてください。

使用する電源の電圧	使用する電源コード	電源電圧切替スイッチ (VOLTAGE SELECT) の位置
AC100V ~ 130V コンセント	AC100V ~ 130V 用 電源コード	「100 130V ~」 200 240V ~  100 130V ~
AC200V ~ 240V (単相) コンセント	AC200V ~ 240V 用 電源コード	「200 240V ~」 200 240V ~  100 130V ~

3 電源プラグをコンセントに接続する。

これで、AC 電源コードの接続は完了です。

2. 設置と接続

電源コードストッパーの使いかた

本体側の電源プラグが抜け落ちないように、添付の電源コードストッパーを使って固定します。



注意

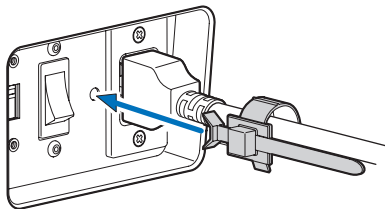
- ・ 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際はプラグを奥までしっかり挿し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続が緩むと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- ・ 電源コードを束ねて（丸めて）固定しないでください。コードが発熱して火災の原因となるおそれがあります。

注意

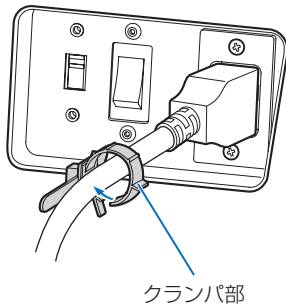
- ・ 他の信号ケーブルと一緒にクランプしないでください。信号ケーブルにノイズの影響を与えるおそれがあります。
- ・ 電源コードストッパーを本体に取り付けると、取り外しできません。

電源コードストッパーの取り付け

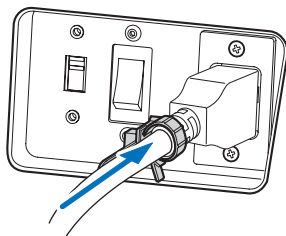
- 1 クランパ部を電源コード側の向きにして、電源コードストッパーの先端をプロジェクター本体の取り付け穴に合わせて、押し込む。



- 2 電源コードをクランプする。
クランパ部を押すとロックされます。



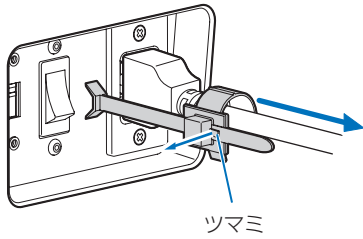
- 3 電源プラグの根本まで、クランパ部をスライドさせる。



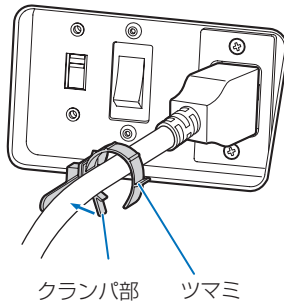
これで、電源コードストッパーの取り付けは完了です。

電源コードの取り外し

- 1 電源コードストッパーのつまみを左に引っ張った状態のまま、適度な位置まで広げる。



- 2 クランパ部のつまみを押したままクランパ部を開き、電源コードから取り外す。



注意

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2. 設置と接続

2-3. 映像入力端子と接続する

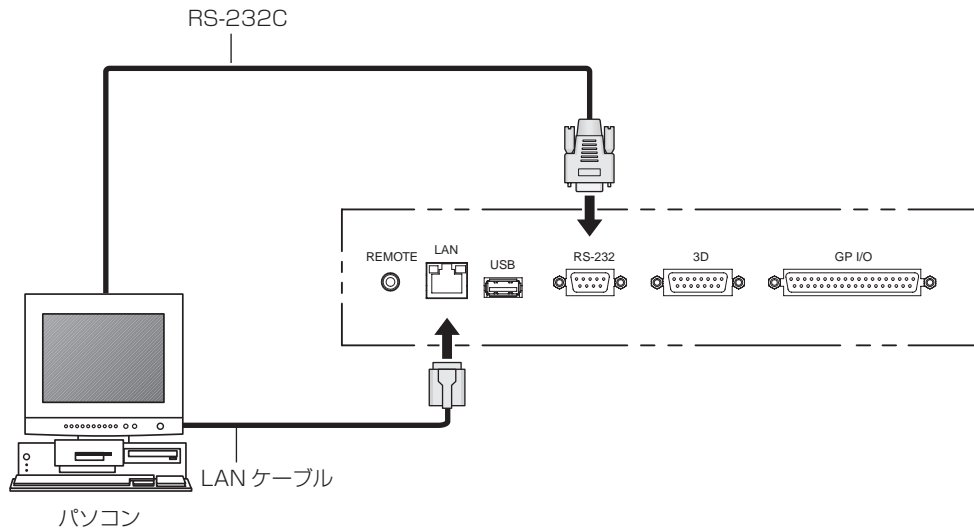
IMB で使用できる映像入力端子は次のとおりです。映像入力端子と外部機器との接続については、IMB の取扱説明書をご覧ください。

NP-90MS02	HDMI 入力端子	x 1
	3G SDI 入力端子	x 2

2-4. 各種コントロール端子と接続する

プロジェクターには、コントロール用として、PC コントロール端子、LAN ポート (RJ-45) などがあります。

- PC コントロール端子 (RS-232) パソコンからプロジェクターをシリアル接続で制御する場合に使用します。
- LAN ポート (LAN) パソコンからプロジェクターを LAN 接続で制御する場合に使用します。



3.

映像を投写する（基本操作）

3-1. 映像を投写する流れ

●ステップ1

プロジェクターの電源を入れる（▶28 ページ）

●ステップ2

入力信号のタイトルを選択する（▶31 ページ）

●ステップ3

投写画面の位置と大きさを調整する（▶32 ページ）

●ステップ4

プロジェクターの電源を切る（▶39 ページ）

3. 映像を投写する（基本操作）

3-2. 本機の電源を入れる

- 準備： ・電源ケーブルをプロジェクターに接続します（☉ 21 ページ）。
・プロジェクター本体に AC 電源を供給します。

重要



- ・プロジェクターに AC 電源を供給または遮断する場合は、主電源スイッチが OFF の状態で行ってください。主電源スイッチが ON の状態で電源の供給／遮断を行うと、故障の原因となります。
 - ・プロジェクターの電源の入／切は、「主電源スイッチ」と「<POWER> ボタン」の 2 段階の操作で行います。
- 電源を入れる（☉このページ）
- [1] プロジェクター本体の「主電源スイッチ」を ON にする。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
 - [2] KEY LOCK が有効な場合、<KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押す。
KEY LOCK が解除され、本体操作部のボタンを操作できるようになります。
 - [3] <POWER> ボタンを 3 秒以上押す。
プロジェクターの電源が入ります。
- 電源を切る（☉ 39 ページ）
- [1] <POWER> ボタンを 3 秒以上押す。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
 - [2] プロジェクター本体の「主電源スイッチ」を OFF にする。
プロジェクターの電源が切れます。

- 1 レンズキャップを外す。
- 2 電源電圧切替スイッチが、使用する電源電圧に合わせて設定されていることを確認する。



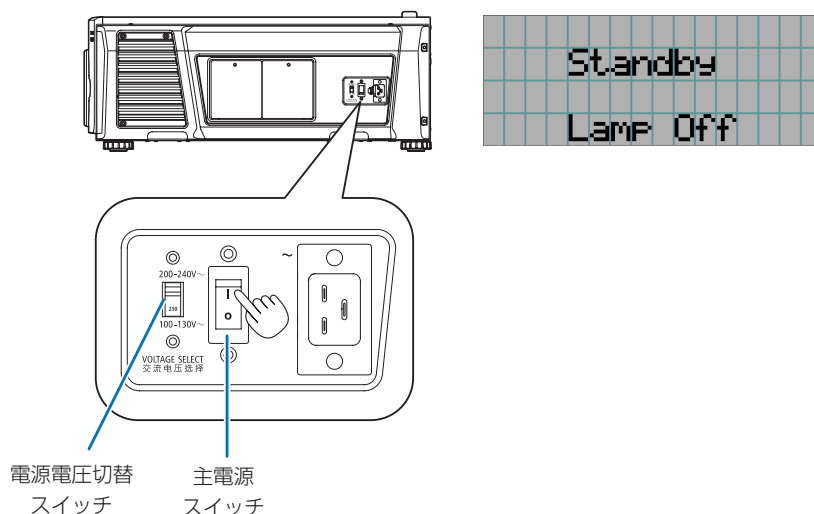
注意

本機を接続する電源コンセントの電圧に合わせて、電源コードおよび本機の電源電圧を切り替えてください。選択が間違っていると、故障や火災の原因となります。

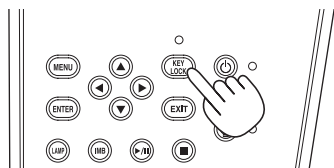
使用する電源の電圧	電源電圧切替スイッチ (VOLTAGE SELECT) の位置
AC100V～130V コンセント	「100 130V～」 200 240V～  100 130V～
AC200V～240V（単相） コンセント	「200 240V～」 200 240V～  100 130V～

3 プロジェクター本体側面にある主電源スイッチを ON にする。

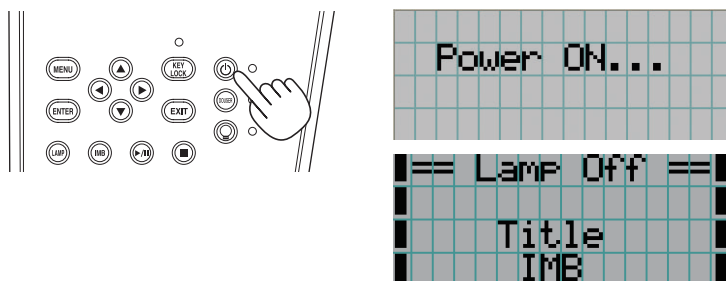
プロジェクターのブザーが鳴り、<POWER> ボタンのインジケータが緑色に点滅し、ステータスインジケータがオレンジ色で点灯します（スタンバイ状態）。初期設定では、スタンバイ状態で 30 秒間、本体操作部を操作しないと、自動的に KEY LOCK が有効になります。KEY LOCK が有効な場合、本体操作部のボタンを押しても機能しません（37 ページ）。

**4 KEY LOCK が有効な場合、<KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押す。**

KEY LOCK が解除されます。<KEY LOCK> ボタンのインジケータが消灯して、本体操作部のボタンを操作できるようになります（37 ページ）。

**5 本体操作部の <POWER> ボタンを 3 秒以上押す。**

プロジェクターの電源が入ります。



プロジェクターの起動が完了すると、<POWER> ボタン、<DOUSER> ボタン、<LAMP ON/OFF> ボタンおよびプリセットボタン（<1>～<8> ボタン）のインジケータが以下のように変化します。

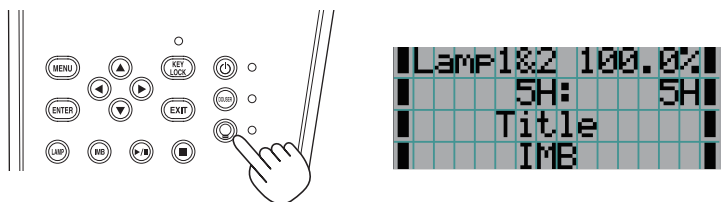
<POWER> ボタン	緑色で点灯
<DOUSER> ボタン	初期設定：消灯（ダウザー OFF）
<LAMP ON/OFF> ボタン	初期設定：緑色で点滅（ランプ OFF）
<1>～<8> ボタン	最後に選択したプリセットボタンが緑色で点灯

3. 映像を投写する（基本操作）

6 本体操作部の <LAMP ON/OFF> ボタンを 3 秒以上押す。

ランプが点灯し、約 15 秒後にスクリーンが明るくなります。<LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが緑色で点滅（2 回周期）します（90 秒後、点灯（緑色）に変わります）。

スクリーンが明るくなるまでの間、ダウザーが閉じます（<DOUSER> ボタンのインジケータが緑色で点灯します）。ダウザーが開くと、<DOUSER> ボタンのインジケータが消灯します。



注意

- ・ プロジェクターの電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- ・ 次のような場合は、<POWER> ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
 - ・ 電源を入れてもランプが点灯せず、ステータスインジケータが赤色で点滅している場合は、プロジェクターが故障している可能性があります。液晶画面のエラー表示を確認し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・ 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（5 ～ 10 分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。

3-3. 入力信号のタイトルを選択する

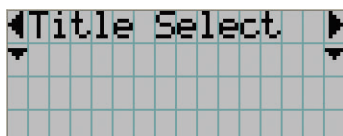
本機では、あらかじめ登録したタイトル（入力信号）を本体操作部のプリセットボタンから選択することができます（最大16タイトルまで）。タイトルの登録、変更については販売店にご依頼ください。ここでは登録されたタイトルを選択する手順について説明します。

1 プロジェクターに接続している映像機器などの電源を入れる。

2 <MENU> ボタンを押す。

3 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Title Select」を表示する。

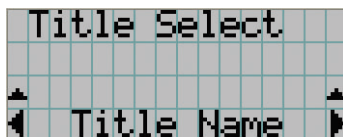
<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、“Title Select” ↔ “Configuration” ↔ “(Title Setup)” ↔ “Information” と表示が変わります。



4 <DOWN> ボタンを押す。

入力信号のタイトルが表示されます。

・間違っって選択した場合は、<UP> ボタンを押してください。1つ前のメニューに戻ります。

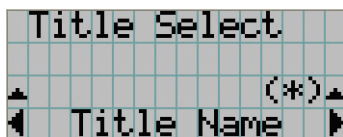


5 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に“投写する信号のタイトル”を表示する。

6 <ENTER> ボタンを押す。

投写する信号のタイトルが選択されます。

・液晶画面に表示されている（*）印は、現在選択されている項目であることを表しています。

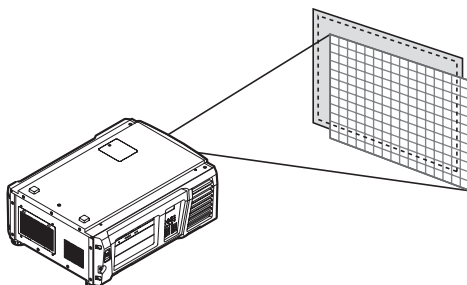


3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

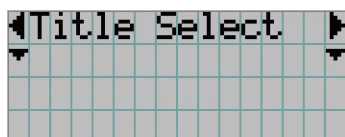
3-4-1. テストパターンの表示

- 1** <MENU> ボタンを押す。または、プリセットボタン（<1>～<8> ボタン）からテストパターンを選択する。

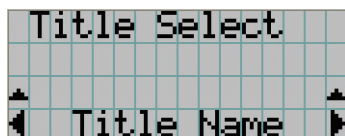
プリセットボタン（<1>～<8> ボタン）にテストパターンを登録している場合は、「3-3. 入力信号のタイトルを選択する（31 ページ）」に従ってテストパターンを選択します。



- 2** <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Title Select」を表示する。

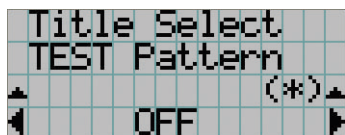


- 3** <DOWN> ボタンを押す。
入力信号のタイトルが表示されます。



- 4** <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「TEST Pattern」を表示する。

- 5** <DOWN> ボタンを押す。
テストパターンを選択するモードになります。



- 6** <LEFT/RIGHT> ボタンを押す。
液晶画面のテストパターン名表示が切り替わります。

7 投写するテストパターン名を液晶画面に表示して、<ENTER> ボタンを押す。

テストパターンが表示されます。



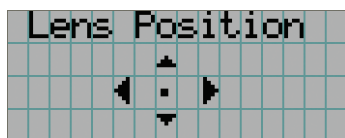
テストパターンの表示を解除する場合は、投写する信号のタイトルを選択するか、テストパターン「OFF」を選択します。



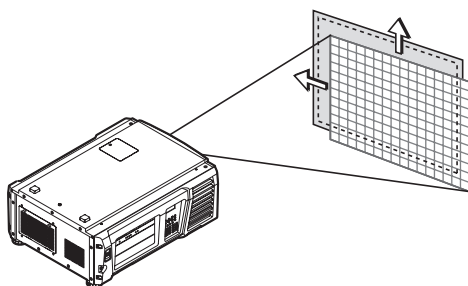
3-4-2. 投写画面の位置の調整（レンズシフト）

1 <MENU> ボタンを押す。**2** <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Configuration」を表示する。**3** <DOWN> ボタンを押す。**4** <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Lens Control」を表示する。**5** <DOWN> ボタンを押す。

投写画面の位置の調整画面（「Lens Position」）が表示されます。

**6** <UP/DOWN/LEFT/RIGHT> ボタンを押す。

投写画面の位置が上下左右に移動します。

**7** 調整が完了したら、<EXIT> ボタンを押す。

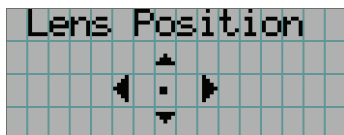
1つ上の階層（「Lens Control」が表示されている画面）に戻ります。

3. 映像を投写する（基本操作）

3-4-3. 投写画面の大きさの調整（ズーム）、フォーカス調整（フォーカス）

- 1 <MENU> ボタンを押す。
- 2 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Configuration」を表示する。
- 3 <DOWN> ボタンを押す。
- 4 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Lens Control」を表示する。
- 5 <DOWN> ボタンを押す。

投写画面の位置の調整画面（「Lens Position」）が表示されます。



- 6 <ENTER> ボタンを押す。

投写画面の大きさ、フォーカスの調整画面が表示されます。

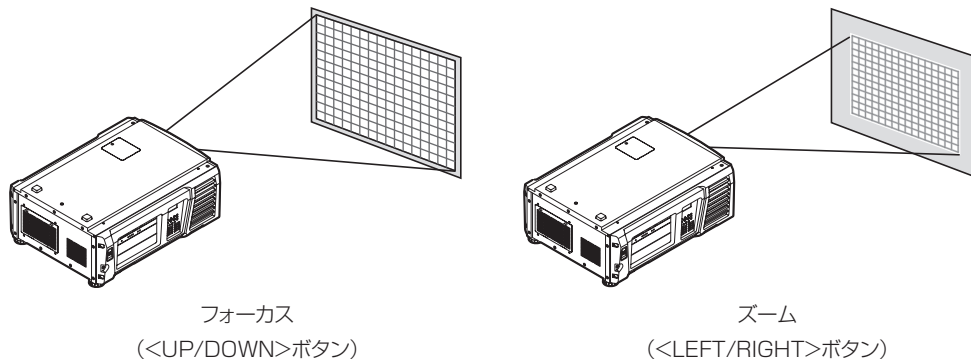
<ENTER> ボタンを押すと、調整画面（「Lens Position」、「Focus Zoom」）を切り替えられます。



- 7 投写画面の大きさ、フォーカスを調整する。

<UP/DOWN> ボタンを押すと、フォーカスを調整できます。

<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、投写画面の大きさを調整できます。



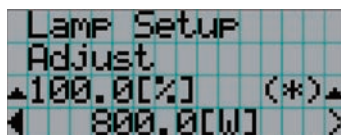
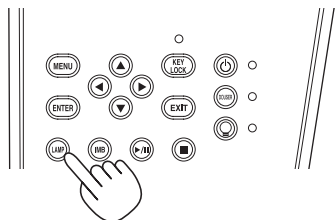
- 8 調整が完了したら、<EXIT> ボタンを押す。

1つ上の階層（「Lens Control」が表示されている画面）に戻ります。

3-4-4. 投写画面の明るさ調整（ランプ出力）

1 <LAMP> ボタンを押す。

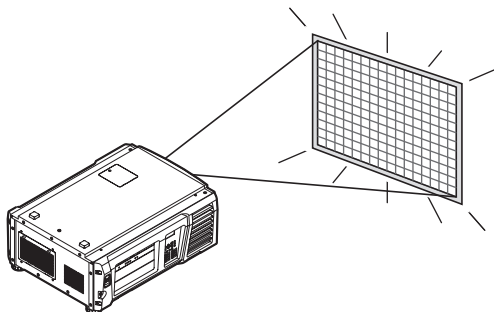
ランプ出力の調整画面が表示されます。

**参考**

<LAMP> ボタンを押すと、調整画面（「Lamp Setup (Adjust)」、 「Lamp Setup (Lamp Mode)」を切り替えます。ただし、<LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが緑色で点滅している間（▶ 70 ページ）はランプの消灯およびランプモードの設定ができないため、ランプモードの設定画面は使用できません。

2 <LEFT/RIGHT> でランプ出力を調整する。

設定した調整値が適用されます。



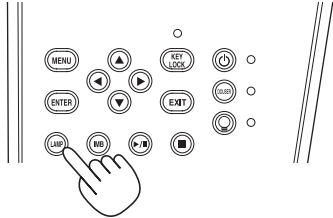
3. 映像を投写する（基本操作）

3-4-5. 投写画面の明るさ調整（ランプモード）

注意 <LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが緑色で点滅している間(▶70 ページ)はランプモードを変更できないため、ランプモードの設定画面は使用できません。インジケータが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

1 <LAMP> ボタンを押す。

ランプ出力の調整画面が表示されます。

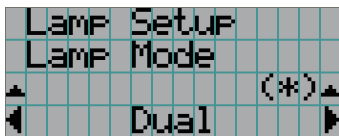


2 ランプ出力の調整画面が表示されている状態で、<LAMP> ボタンを押す。

ランプ選択画面（ランプモードの設定画面）が表示されます。

参考 <LAMP> ボタンを押すと、調整画面（「Lamp Setup (Adjust)」、`「Lamp Setup (Lamp Mode)」`）を切り替えることができます。

3 < LEFT/RIGHT > ボタンを押して、使用するランプを選択する。



Dual	両方のランプを使用します。
Lamp 1	ランプ 1 のみ使用します。
Lamp 2	ランプ 2 のみ使用します。

4 <ENTER> ボタンを押す。

- ・ランプ点灯中の場合には、変更した設定が即座に反映されます。
- ・ランプ消灯中の場合には、次にランプを点灯したときに設定が反映されます。

注意 ランプモードを変更すると、< LAMP ON/OFF > ボタンのインジケータが緑色で点滅します(▶70 ページ)。インジケータが点滅している間は、ランプモードの変更ができません。インジケータが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

3-5. 誤操作を防止する

誤操作を防ぐため、本体操作部のボタンをロック（KEY LOCK）できます。KEY LOCK が有効な場合、本体操作部のボタンを押しても機能しません。操作するためには、KEY LOCK を解除する必要があります。

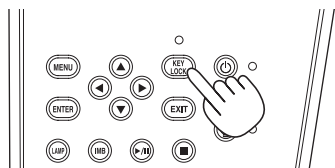
重要

- ・ 次の場合は、自動的に KEY LOCK が有効になります。
 - ・ 本機に AC 電源を供給している状態で、主電源スイッチをオンにして、スタンバイ状態になったとき。
 - ・ <POWER> ボタンで本機の電源を切り、スタンバイ状態になったとき。
- ・ 本機がスタンバイ状態になったときに KEY LOCK が有効になるタイミングは、調整メニューの「Auto Key Lock」の設定により異なります。
 - ・ Auto Key Lock が有効（Enable）な場合、スタンバイ状態になってから 30 秒間、本体操作部を操作しないと、自動的に KEY LOCK が有効になります。KEY LOCK を解除しても、30 秒間無操作状態が続くと、自動的に KEY LOCK が有効になります。
 - ・ Auto Key Lock が無効（Disable）な場合、スタンバイ状態になると自動的に KEY LOCK が有効になりますが、KEY LOCK を解除した後は、解除された状態のままになります。

3-5-1. KEY LOCK の設定

- ・ 本体操作部の <KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押す。

KEY LOCK が有効になります。<KEY LOCK> ボタンのインジケータがオレンジ色に点灯します。KEY LOCK が有効な状態で本体操作部のボタンを押したときは、「Panel is Locked. (KEY LOCK)」と表示され、機能しません（▶ 42 ページ）。



3-5-2. KEY LOCK の解除

- ・ KEY LOCK が有効なときに、本体操作部の <KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押す。

KEY LOCK が解除されます。<KEY LOCK> ボタンのインジケータが消灯します。

3-6. 本機の電源を入れた状態でランプの ON/OFF をする

注意

次に示す操作を行った場合は、本体操作部のインジケータが点滅します（▶69 ページ）。

- ・ ランプ点灯時またはランプモード変更時
<POWER> ボタンおよび <LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが緑色で点滅します。<POWER> ボタンのインジケータが点滅（2 回周期）している間は、本機の電源を切ることができません。また、<LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが点滅している間は、ランプを消灯することができません。
- ・ ランプ消灯時
<LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが緑色で点滅します。<LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが点滅している間は、ランプを点灯することができません。

インジケータが点滅中に <POWER> ボタンまたは <LAMP ON/OFF> ボタンを操作すると、液晶表示部に次のような警告画面が表示されます。残り時間が 0 になると、<POWER> ボタンまたは <LAMP ON/OFF> ボタンを使用できる状態に戻ります。

```
*Lamp&Power not*
available now!
left 50 sec
* < OK > *
```

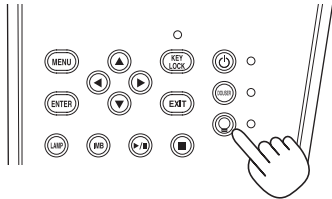
ランプ点灯時または
ランプモード変更時

```
*Lamp not
available now!
left 83 sec
* < OK > *
```

ランプ消灯時

3-6-1. ランプの消灯

- ・ 本体操作部の <LAMP ON/OFF> ボタンを 3 秒以上押す。



3-6-2. ランプの点灯

- ・ 本体操作部の <LAMP ON/OFF> ボタンを 3 秒以上押す。

参考

ランプモードを“Dual” に設定しているときに次の状態が発生すると、液晶表示部に“Lamp Lit Change”が表示されます。

- ・ ランプ点灯時、一方のランプだけ点灯に失敗した場合
- ・ ランプ点灯中、一方のランプだけ消灯してしまった場合

点灯に失敗した、または消灯してしまったランプを再度点灯するには、<LAMP ON/OFF> ボタンと <MENU> ボタンを同時に 3 秒以上押してください。ただし、<LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが点滅している間は、ランプを再点灯させることはできません。

3-7. 本機の電源を切る

注意

次に示す操作を行った場合は、本体操作部のインジケータが点滅します（☉69 ページ）。

- ・ ランプ点灯時またはランプモード変更時

<POWER> ボタンおよび <LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが緑色で点滅します。<POWER> ボタンのインジケータが点滅（2 回周期）している間は、本機の電源を切ることができません。また、<LAMP ON/OFF> ボタンのインジケータが点滅している間は、ランプを消灯することができません。

インジケータが点滅中に <POWER> ボタンまたは <LAMP ON/OFF> ボタンを操作すると、液晶表示部に次のような警告画面が表示されます。残り時間が 0 になると、<POWER> ボタンまたは <LAMP ON/OFF> ボタンを使用できる状態に戻ります。

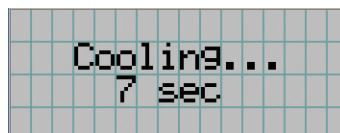
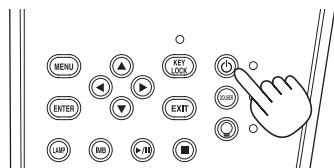
```
*Lamp&Power not*
available now!
left 50 sec
* < OK > *
```

ランプ点灯時または
ランプモード変更時

1 本体操作部の <POWER> ボタンを 3 秒以上押す。

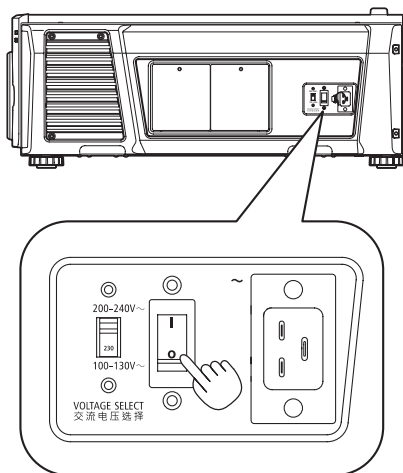
ランプが消え、<POWER> ボタンのインジケータが緑色、ステータスインジケータがオレンジ色で点滅します（クーリング状態）。

クーリング中はファンが回転し、液晶画面にクーリングの残り時間が表示されます。クーリング時間は 90 秒間です。クーリングが終了すると、<POWER> ボタンのインジケータが消灯し、ステータスインジケータがオレンジ色で点灯します（スタンバイ状態）。初期設定では、スタンバイ状態で 30 秒間、本体操作部を操作しないと、自動的に KEY LOCK が有効になります。KEY LOCK が有効な場合、本体操作部のボタンを押しても機能しません（☉37 ページ）。



2 スタンバイ状態になってから、プロジェクター本体の主電源スイッチを OFF にする。

<POWER> ボタンのインジケータが消灯し、主電源が切れます。



3. 映像を投写する（基本操作）

3 プロジェクター本体の電源プラグをコンセントから抜く。



次のような場合は、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたり、AC 電源コードを接続しているブレーカを切ったりしないでください。機器が故障するおそれがあります。

- ・ 投写中
- ・ ランプ消灯後のクーリング中（クーリング時間は 90 秒です）

4.

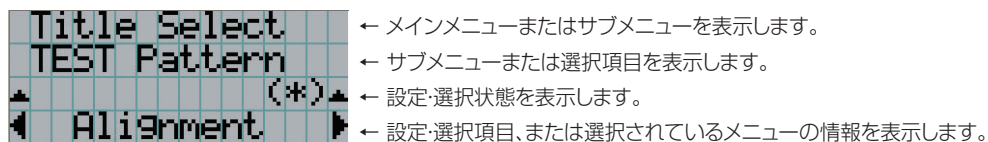
調整メニュー

4-1. 調整メニューの基本操作

プロジェクターの調整は、本体操作部の液晶画面にメニューを表示して行います。

4-1-1. 画面表示

メニュー表示画面は、メニュー表示部（上の2行）と設定項目の表示部（下の2行）から構成されています。



メニュー表示画面の記号の意味は、次のとおりです。

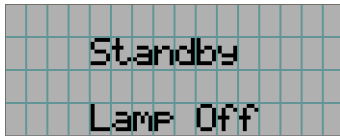
	上の階層のメニューがあることを示します。 <UP>ボタンを押すと、上の階層のメニューに戻ります。
	同階層に選択項目またはメニューがあることを示します。 <LEFT/RIGHT>ボタンを押すと、他の選択項目またはメニューが表示されます。
	下の階層にメニューまたは設定項目があることを示します。 <DOWN>ボタンを押すと、下の階層を表示します。
	上下の階層に設定項目があることを示します。 <UP>ボタンを押すと、上の階層のメニューに戻ります。 <DOWN>ボタンを押すと、下の階層の設定項目を表示します。

4. 調整メニュー

メニューを表示していないときは、通常、次に示す画面が表示されます。

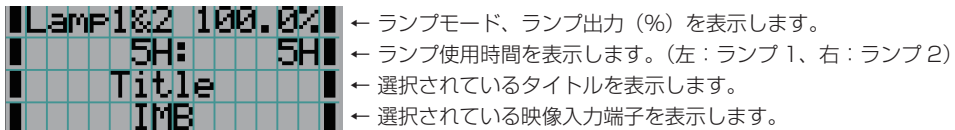
スタンバイ時

プロジェクター本体がスタンバイ状態（主電源スイッチが ON） のときは、次のように表示されます。



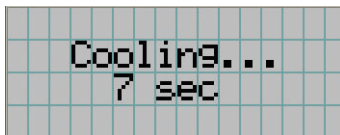
電源が入っているとき

電源が入っているときは、次のように表示されます。



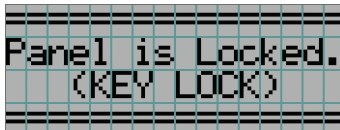
電源を切ったとき

本体操作部の <POWER> ボタンを 3 秒以上押しと、プロジェクター本体はクーリングを開始します。クーリングが完了すると、プロジェクター本体はスタンバイ状態になります。クーリング中は次のようにクーリングの残り時間が表示されます。



KEY LOCK が有効な状態でボタンを押したとき

KEY LOCK が有効な状態で本体操作部のボタンを押したときは、次のように表示され、機能しません。

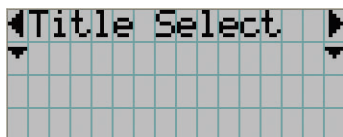


4-1-2. メニューを操作する

準備：プロジェクターの電源を入れてください (28 ページ)。

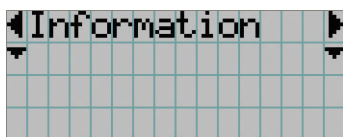
1 本体操作部の <MENU> ボタンを押す。

液晶画面にメニューが表示されます。



2 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、“Information” を選択する。

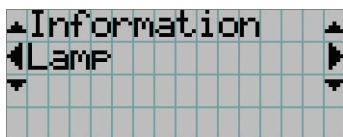
<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、“Title Select” ↔ “Configuration” ↔ “(Title Setup)” ↔ “Information” と表示が変わります。



3 <DOWN> ボタンを押す。

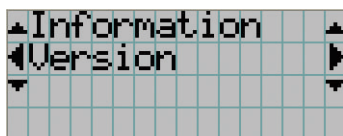
“Information” のサブメニュー “Lamp” が表示されます。

- ・ <DOWN> ボタンの代わりに、<ENTER> ボタンを押しても項目を選択できます。
- ・ 1つ前の状態に戻る場合は、<UP> ボタン、または <EXIT> ボタンを押します。



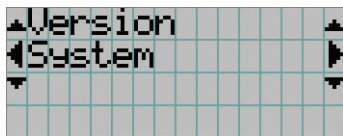
4 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、サブメニュー “Version” を選択する。

<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、“Lamp” ← “Lens Type” → “Preset Button” ↔ “Usage” ↔ “Error Code” ↔ “Version” ↔ “IP Address” ↔ “Setup Date” ↔ “Option Status” と表示が変わります。



5 <DOWN> ボタンを押す。

“Version” のさらに下の階層のサブメニュー “System” が表示されます。



4. 調整メニュー

6 <DOWN> ボタンを押す。

"System" のさらに下の階層のサブメニュー "Model" が表示されます。

```
▲System
▼Model
( NC1000C )
```

7 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、サブメニュー "Release Package" を選択する。

<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、"Model" ↔ "Serial No." ↔ "Release Package" ↔ "Kernel" ↔ "U-Boot" ↔ "System Files" ↔ "Cinema Firmware" ↔ "Cinema Data" ↔ "ICP Firmware" ↔ "ICP ConfigFile" ↔ "FMT FPGA" ↔ "Slave BIOS" ↔ "Slave Firmware" ↔ "Opt MCU" ↔ "Secure Processor" ↔ "Lens" ↔ "Ballast" と表示が変わり、各種バージョン情報が表示されます。

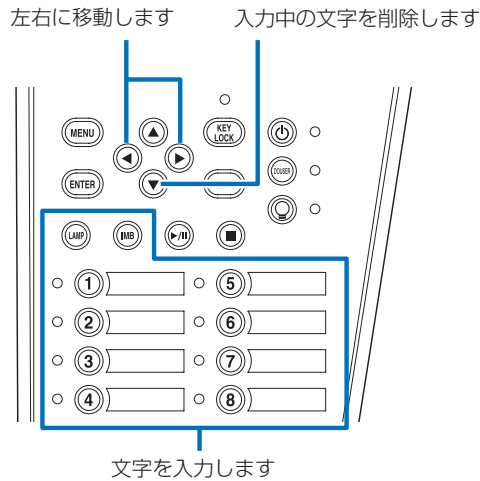
```
▲System
▼Release Packa...
( 1.12 )
```

8 <UP> ボタンを数回押す。

<UP> ボタンを押すたびに、1つずつ上の階層に戻ります。

4-1-3. 英数字の入力方法

指定した期間のログファイルを USB メモリに書き出すときなど、英数字を入力することがあります (74 ページ)。本機では、本体操作部のボタンを押して文字を入力します。



各ボタンを押すと、下の表のように文字が入力できます。

・入力中の文字を削除する場合は、文字の入力中に <DOWN> ボタンを押します。

【入力例】

「XGA」と入力するには次のように操作します。

- (1) <8> ボタンを3回押す。
V → W → X
- (2) <RIGHT> ボタンを押す。
- (3) <3> ボタンを押す。
XG
- (4) <RIGHT> ボタンを押す。
- (5) <1> ボタンを押す。
XGA

ボタン	入力文字列
<1>	A → B → C → 1 → a → b → c → ! → ↑
<2>	D → E → F → 2 → d → e → f → " → ↑
<3>	G → H → I → 3 → g → h → i → # → ↑
<4>	J → K → L → 4 → j → k → l → \$ → ↑
<5>	M → N → O → 5 → m → n → o → % → ↑
<6>	P → Q → R → 6 → p → q → r → & → ↑
<7>	S → T → U → 7 → s → t → u → ' → ↑
<8>	V → W → X → 8 → v → w → x → (→ ↑
<LAMP>	Y → Z → / → 9 → y → z → ? →) → ↑
<IMB>	* → , → . → 0 → ; → : → + → - → ↑

4-2. 調整メニュー一覧

() で示すメニューは、サービスマン用のメニューです。通常時は使用できません。

メインメニュー	サブメニュー		説明	参照ページ	
Title Select	"Title Memory 名"		投写する信号のタイトルを選択します。	47	
	TEST Pattern		投写するテストパターンを選択します。	47	
Configuration	Lamp Setup	Adjust	ランプの明るさを調整します。	48	
		Lamp Mode	使用するランプを選択します。	48	
	Lens Control	Lens Position	投写画面の位置を調整します。	49	
		Focus Zoom	投写画面の大きさの調整、フォーカス調整を行います。	49	
	Reset	(FactoryDefault)	設定値を工場出荷状態に戻します。プリセットボタンとタイトルのみ、LAN 設定のみ、すべての設定の 3 種類を設定できます。	-	
		Lamp Usage	ランプ使用時間をリセットします。	50	
		Filter Usage	エアフィルター使用時間をリセットします。	50	
		Filter Cleaning	エアフィルター使用時間（清掃時期の確認用）をリセットします。	50	
		(Fan Usage)	ファン使用時間をリセットします。	-	
		(Douser Count)	ダウザーの使用回数をリセットします。	-	
	(Setup)	Douser Setup	ダウザーの開閉状態を設定します。	-	
		Panel Key Lock	本体操作部の操作ボタンをロックして操作できないようにします。	-	
		Auto Key Lock	Auto Key Lock の有効/無効を選択します。	-	
		3D Connector	3D 映像システム用の信号入力端子を設定します。	-	
		Unlit Mode	ランプが点灯しなかったときのプロジェクターの動作を設定します。	-	
		Off Timer	自動的にプロジェクターの電源が切れるまでの時間を設定します。	-	
		Message	ランプ交換時期、エアフィルター交換時期、エアフィルター清掃時期を示すメッセージを表示する時間を設定します。	-	
		Silent Mode	ステータスインジケータ、ブザー、本体操作部のインジケータおよびバックライトの有効/無効を選択します。	-	
		(Installation)	Option Slot	(スタンバイ時のみ設定可能) スロットに取り付けた装置を設定します。	-
			Orientation	投写方法および冷却ファンの動作モードを設定します。	-
	Lens Type		本機に取り付けたレンズの種類(レンズメモリ対応/非対応)を設定します。	-	
	Lens Center		レンズシフトの位置をセンターに移動します。	-	
	Baudrate		PC コントロール端子 (RS-232) のデータ転送速度 (bps) を設定します。	-	
	Date/Time		設置時に日付と時刻を設定します。	-	
	Fan Speed Mode		冷却ファンの動作モードを設定します。	-	
	Fan Noise Reduc.		冷却ファンの静音モードを設定します。	-	
	(Memory)	Lamp	現在の光源の出力値を、選択したメモリ (ランプメモリ) に上書きします。	-	
Lens		現在のレンズの調整値を、選択したメモリ (レンズメモリ) に上書きします。	-		
(Title Setup)	Preset Button	Preset Button 1-16	プリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) に割り当てるタイトルを設定します。	51	
Information	Lamp	Output	ランプ出力の設定値を表示します。	51	
		Voltage	ランプの電圧値を表示します。	51	
		Serial	ランプのシリアル番号を表示します。	51	
	Lens Type		レンズタイプの設定を表示します。	51	
	Preset Button	Preset Button 1-16	プリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) に割り当てられているタイトルを表示します。	52	
	Usage		プロジェクターの使用状況に関する情報を表示します。	52	
	Error Code		現在発生中のエラーを表示します。	52	
	Version	System	プロジェクター本体の機種名や各種バージョン情報を表示します。	53	
		IMB	メディアブロック (IMB) のベンダー名とバージョン情報を表示します。	53	
	IP Address	System	プロジェクター本体の IP アドレスを表示します。	53	
	Setup Date		本機を設置した日付 (保証期間開始日) を表示します。	53	
	Option Status		スロットに取り付けた装置とプロジェクター本体の接続状態を表示します。	54	

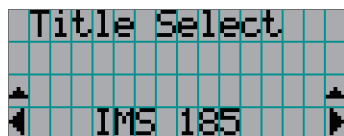
4-3. Title Select

4-3-1. タイトルの選択 (Title Memory)

投写する信号のタイトルを選択します。

タイトルは最大 100 個まで登録できます。また、登録したタイトルは、本体操作部のプリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) に割り当てて、操作ボタンから直接呼び出すことができます。

タイトルの登録、変更については販売店にご依頼ください。

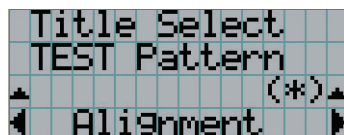


← 現在選択されている項目を(*)印で示します。

← 投写するタイトルを選択します。

4-3-2. Test Pattern

投写するテストパターンを選択します。



← 現在選択されている項目を(*)印で示します。

← 投写するテストパターンを選択します。

OFF、Alignment、Cross Hatch、Convergence、Red、Green、Blue、White、Black、White 50% [IRE]、H-Ramp、Logo

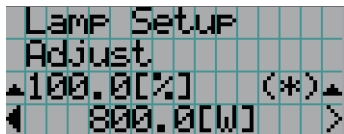
4-4. Configuration

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

4-4-1. Lamp Setup

Adjust

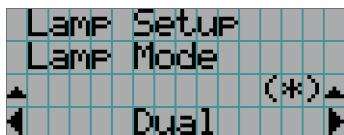
ランプの出力（明るさ）を調整します。



← ランプの定格出力を 100% としたとき、現在の出力値 (%) を表示します。
← 現在の電力値 (W) を表示します。

Lamp Mode

使用するランプを設定します。“Dual” を選択した場合、ランプ 1 とランプ 2 を同時に点灯/消灯します。“Lamp 1” または “Lamp 2” を選択した場合、もう一方のランプは使用しません。



← 現在選択されている項目を (*) 印で示します。
← 設定値を表示します。

Dual	ランプ 1、ランプ 2 を同時に使用します。
Lamp 1	ランプ 1 のみ使用します (ランプ 2 は使用しません)。
Lamp 2	ランプ 2 のみ使用します (ランプ 1 は使用しません)。

参考

- ・ ランプ点灯中にランプモードを変更した場合、変更した設定が即座に反映されます。
- ・ ランプ消灯中にランプモードを変更した場合、次にランプを点灯したときに設定が反映されます。

注意

ランプモードを変更すると、< LAMP ON/OFF > ボタンのインジケータが緑色で点滅します (70 ページ)。インジケータが点滅している間は、ランプの消灯およびランプモードの変更ができません。インジケータが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

4-4-2. Lens Control

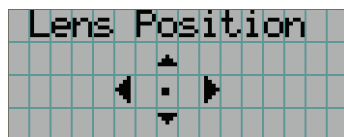
投写画面の位置、大きさ、フォーカスを調整します。

<ENTER> ボタンを押すと、調整画面(「Lens Position」、「Focus Zoom」)を切り替えられます。1 つ上の階層に戻るには、<EXIT> ボタンを押します。

Lens Position

投写画面の位置を調整します。

<UP/DOWN/LEFT/RIGHT> ボタンを押した方向に投写画面が移動します。

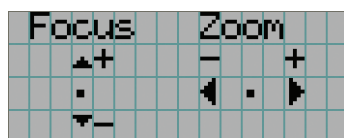


Focus Zoom

投写画面の大きさの調整（ズーム）、フォーカス調整（フォーカス）を行います。

<UP/DOWN> ボタンを押すと、フォーカス調整を行います。

<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、投写画面の大きさを調整します。



4. 調整メニュー

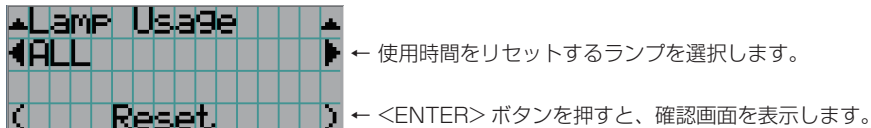
4-4-3. Reset

ランプ、エアフィルターの使用時間をリセットするときに使用します。

Lamp Usage

ランプ使用時間をリセットします。ランプ 1 とランプ 2 を同時に交換した場合には、ランプ 1 とランプ 2 の両方の使用時間をリセットしてください。

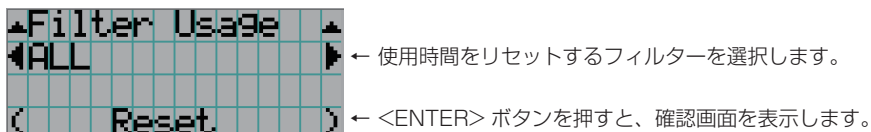
- [1] <LEFT/RIGHT> ボタンを押して使用時間をリセットするランプを選択し、<ENTER> ボタンを押します。
- [2] “Lamp1”、“Lamp2”、または “ALL” 画面で <ENTER> ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- [3] 確認画面で “Yes” を選択して <ENTER> ボタンを押すと、選択したランプのシリアル番号入力画面が表示されます。
- [4] ランプのシリアル番号を入力後、ENTER を押すとランプ使用時間がリセットされます。（“ALL” を選択した場合、ランプ 1 とランプ 2 のシリアル番号を入力します。）



Filter Usage

エアフィルター使用時間をリセットします。

- [1] <LEFT/RIGHT> ボタンを押して使用時間をリセットするランプを選択し、<ENTER> ボタンを押します。
- [2] “Filter1”、“Filter2”、または “ALL” 画面で <ENTER> ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- [3] 確認画面で “Yes” を選択して <ENTER> ボタンを押すと、フィルター使用時間がリセットされます。

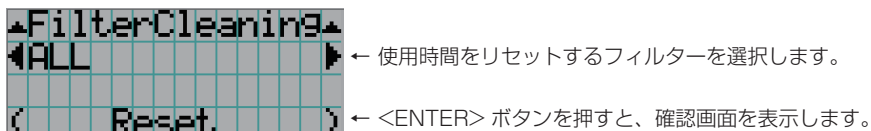


Filter1	エアフィルター（背面）
Filter2	エアフィルター（側面）

Filter Cleaning

エアフィルター使用時間（清掃時期の確認用）をリセットします。

- [1] <LEFT/RIGHT> ボタンを押して使用時間をリセットするフィルターを選択し、<ENTER> ボタンを押します。
- [2] “Filter1”、“Filter2”、または “ALL” 画面で <ENTER> ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- [3] 確認画面で “Yes” を選択して <ENTER> ボタンを押すと、フィルター使用時間がリセットされます。



Filter1	エアフィルター（背面）
Filter2	エアフィルター（側面）

4-5. Title Setup

プリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) に割り当てるタイトルを設定します (最大 16 タイトル)。設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

4-6. Information

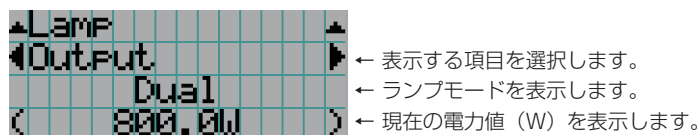
ランプ使用時間、バージョン情報、エラーコードなどを表示します。

4-6-1. Lamp

ランプに関する情報を表示します。

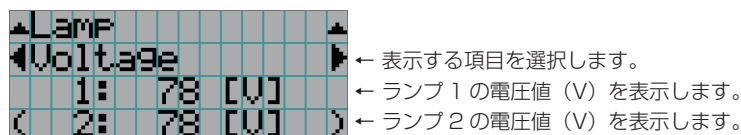
Output

ランプモード、ランプの出力値 (W) を表示します。



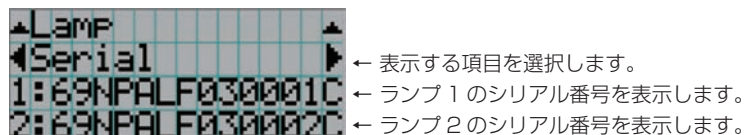
Voltage

現在使用しているランプの電圧値 (V) を表示します。



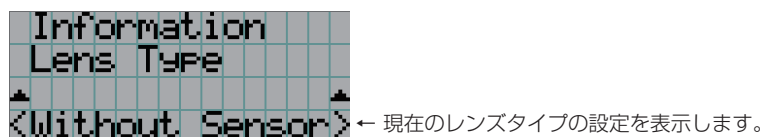
Serial

現在使用しているランプのシリアル番号を表示します。



4-6-2. Lens Type

現在のレンズタイプの設定を表示します。レンズタイプの設定は Configuration メニュー内の「Lens Type」(48 ページ)で行います。

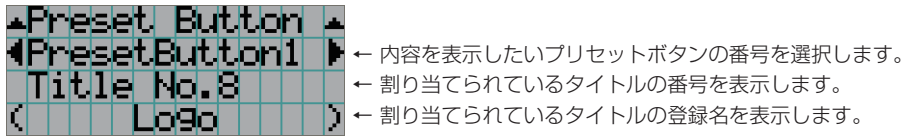


Without Sensor	レンズメモリ非対応のレンズユニットを使用する。
With Sensor	レンズメモリ対応のレンズユニットを使用する。

4. 調整メニュー

4-6-3. Preset Button

本体操作部のプリセットボタン (<1>～<8> ボタン) に割り当てられているタイトルを表示します。



参考 “Preset Button9”～“Preset Button16”に割り当てられているタイトルを選択する場合、<UP> ボタンを押しながらプリセットボタンを押してください。
たとえば、“Preset Button9”に割り当てられているタイトルを選択するには、<UP> ボタンを押しながら<1> ボタンを押します。

4-6-4. Usage

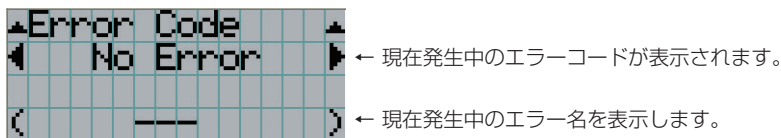
プロジェクター本体、ランプ、エアフィルター、ファンの使用時間やランプ交換時期に関する情報など、プロジェクターの使用状況に関する情報を表示します。



Projector	プロジェクター本体の使用時間を表示します。 上段にスタンバイ状態を含めた使用時間、下段にスタンバイ状態を含めない使用時間を表示します。
Lamp	ランプの使用時間を表示します。
Lamp Remaining	ランプ未使用の状態を 100%、ランプ交換時期の状態を 0%としたとき、現在の使用時間から残量 (目安) を表示します。
Lamp Strike	ランプの点灯回数を表示します。
Filter	エアフィルターの使用時間を表示します。
Fan	ファンの使用時間を表示します。
Douser Count	ダウザーの使用回数を表示します。

4-6-5. Error Code

エラーが発生したときに、エラーコードを表示します。



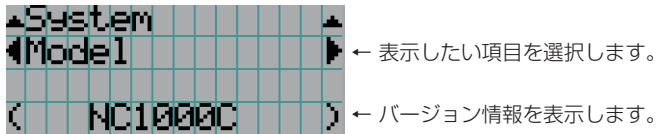
複数エラーが発生している場合は、<LEFT/RIGHT> ボタンを押して表示します。

4-6-6. Version

プロジェクター本体やオプションボード、IMB のバージョン情報などを表示します。

System

プロジェクター本体の各種バージョン情報を表示します。

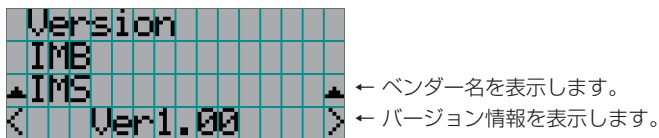


表示項目は以下の通りです。

- Model
- Serial No.
- Release Package
- Kernel
- U-Boot
- System Files
- Cinema Firmware
- Cinema Data
- ICP Firmware
- ICP ConfigFile
- FMT FPGA
- Slave BIOS
- Slave Firmware
- Opt MCU
- Secure Processor
- Lens
- Ballast

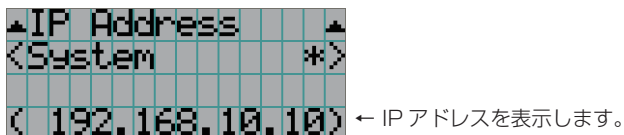
IMB

メディアブロック (IMB) のベンダー名とバージョン情報を表示します。プロジェクター本体がスタンバイ状態の場合、ベンダー名は空欄、バージョン情報は「---」で表示します。



4-6-7. IP Address

プロジェクター本体に設定されている IP アドレスを表示します。



System	プロジェクター本体 (System) の IP アドレスを表示します。
--------	-------------------------------------

4-6-8. Setup Date

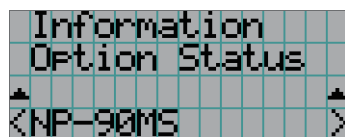
本機を設置した日付 (保証期間の開始日) を表示します。



4. 調整メニュー

4-6-9. Option Status

本機のスロットに装着した装置の接続状態を表示します。プロジェクター本体がスタンバイ状態の場合や装置の状態が確認できない場合には、() が付いた装置名が表示されます。



← スロットに装着した装置の接続状態を表示します。

- NP-90MS:NP-90MS01 / NP-90MS02
- <ベンダー名> IMB: メディアブロック
- No Board: 装置が装着されていません

5.

本体のお手入れ

重要

・ プロジェクター内部の清掃は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

5-1. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ずプロジェクター本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。

- ・ 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水ですめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- ・ シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげたりすることがあります。
- ・ 通風孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付
けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用したりすることは避けてください。
- ・ 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をし
てください。設置環境にもよりますが 100 時間を目安に清掃をしてください。
- ・ キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- ・ 本体内部の清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。



注意

キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげたりするなどの原因となります。

5-2. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローヤーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。

5-3. ランプとエアフィルターの交換

5-3-1. ランプ交換に関する注意

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間(目安)を超えると、メッセージ「Lamp1 OverTime」または「Lamp2 OverTime」がプロジェクターの液晶画面に表示されます。この場合は、ランプ交換時期となりますので、新しいランプと交換してください。

参考

- ・ランプ交換時間(目安)は3000時間です。
- ・現在のランプの使用残量(目安)は調整メニューの以下の項目で確認できます。(▶52ページ)
 - ・ランプの使用残量(目安): 「Information」→「Usage」→「Lamp Remaining」



注意

ランプの交換は、電源を切り冷却ファン停止後、主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、約1時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

- ・安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- ・ランプ1にセットして使い始めたランプをランプ2にセットしなおしたり、ランプ2にセットして使い始めたランプをランプ1にセットしなおしたりしないでください。ランプ交換時間(目安)の積算が正しく行われません。
- ・交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名 NP-10LP01 をご指定ください。
- ・ランプの交換と同時にエアフィルターを交換してください。ご注文の際は交換用フィルタ形名 NP-9AF01 をご指定ください。
- ・交換用ランプおよびエアフィルターのセットも用意しています。ご注文の際は交換用ランプユニットとエアフィルター(一式) 形名 NP-10LF01 をご指定ください。
- ・指定のネジ以外は外さないでください。
- ・ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- ・メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をとまって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、販売店に交換を依頼してください。
- ・本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。

注意

ランプ交換時間は保証時間ではありません。使用環境により実際の交換時間は変動します。

5-3-2. エアフィルター交換に関する注意

ほこりの侵入を防ぐため、本機の吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。本機の性能を保持するために、定期的エアフィルターを交換または清掃してください。



警告

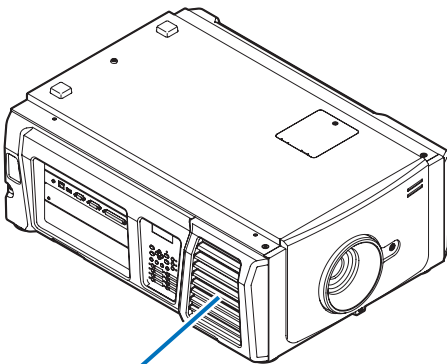
- ・ エアフィルターを交換する場合は、必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ エアフィルターにほこりがたまると、プロジェクター本体への吸気が不十分となり、内部の温度が上昇して、火災や故障の原因になります。



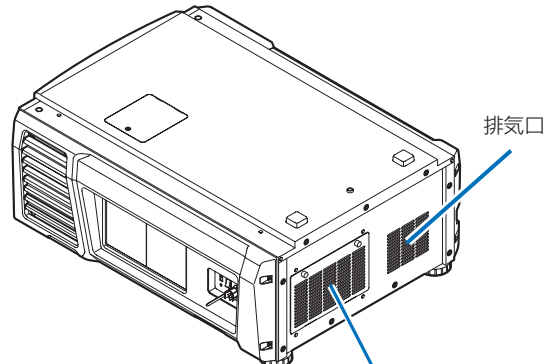
注意

エアフィルターの交換は、電源を切り冷却ファンの回転が止まってから主電源スイッチを切って、本体が十分に冷えてから行ってください。動作中にフィルタユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

- ・ ランプの交換と同時にエアフィルターを交換してください。ご注文の際は交換用フィルタ形名 NP-9AF01 をご指定ください。
- ・ 交換用ランプおよびエアフィルターのセットも用意しています。ご注文の際は交換用ランプユニットとエアフィルター（一式）形名 NP-10LFO1 をご指定ください。
- ・ エアフィルターは必ず両方同時に交換してください。両方のエアフィルターを交換しないと、正しいエアフィルター使用時間の積算ができません。



- ・ 吸気口
- ・ エアフィルター（側面）



- ・ 吸気口
- ・ エアフィルター（背面）

形名	交換時期
NP-9AF01	ランプ交換ごとに交換
NP-10LFO1 (交換用ランプとエアフィルターのセット)	

5. 本体のお手入れ

5-3-3. ランプとエアフィルター交換の流れ

● ステップ 1

ランプを交換する (このページ)

● ステップ 2

・背面のエアフィルターを交換する (62 ページ)

・側面のエアフィルターを交換する (65 ページ)

● ステップ 3

ランプ使用時間とフィルタ使用時間をリセットする (67 ページ)

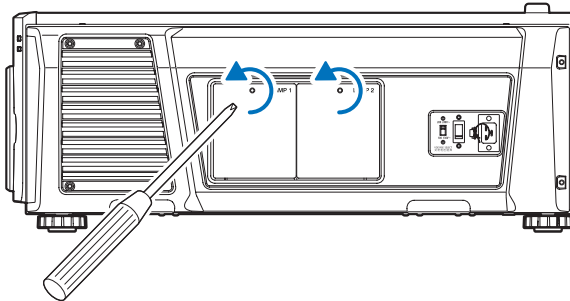
5-3-4. ランプを交換する

ランプを両方交換する場合の手順について説明します。ランプ 1 またはランプ 2 のみ交換する場合は、交換するランプのみ作業してください。

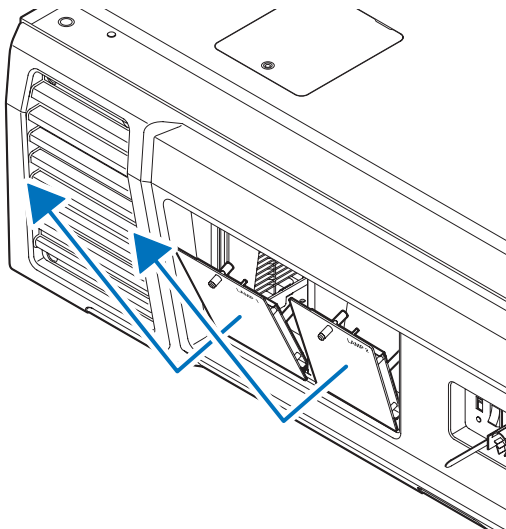
準備：プラスドライバーを用意してください。

1 ランプカバーを開ける。

- 1 ランプカバーの固定用ネジを空転するまで左にゆるめる。
ネジは外れません。

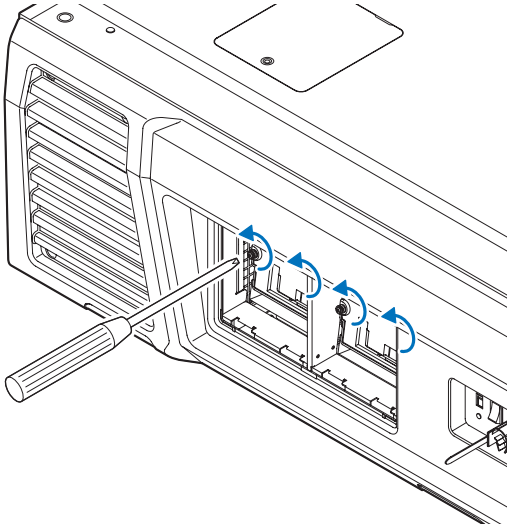


- 2 ランプカバーの固定用ネジの台座部分を持ち、手前に引き上げてランプカバーを開ける。

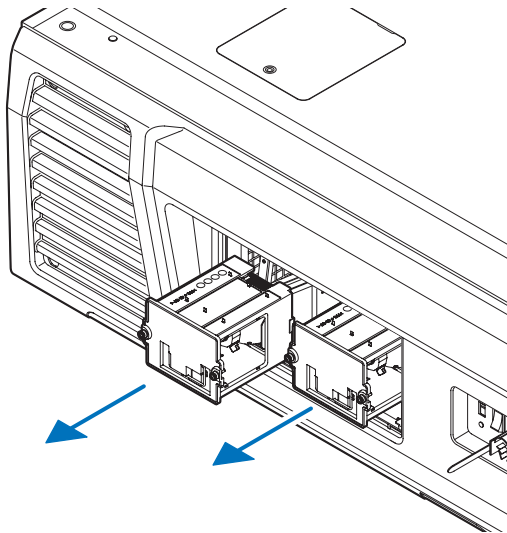


2 ランプを外す。

- ① ランプ固定用ネジ（2箇所）を空転するまで左にゆるめる。
ネジは外れません。



- ② ランプの取っ手を引いて外す。
ランプはまっすぐに引き出してください。

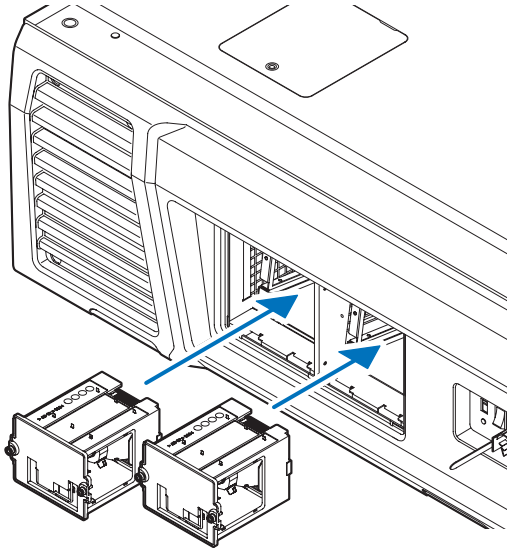
**注意**

高温に注意してください。ランプが冷えていることを確認してから外してください。

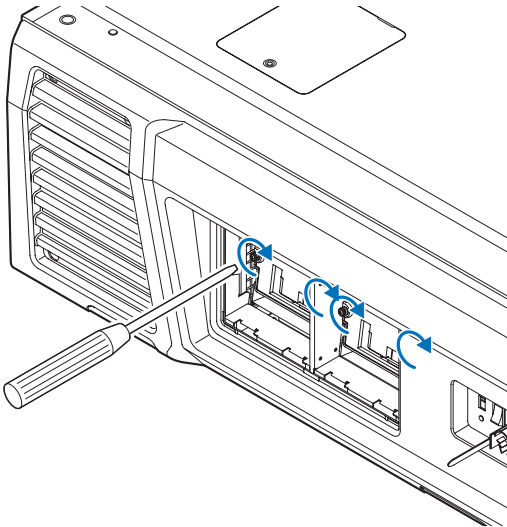
5. 本体のお手入れ

3 新しいランプを取り付ける。

- 1 プロジェクター本体のガイドにあわせて奥まで押し込む。



- 2 ランプ固定用ネジ（2箇所）を右に回してしめる。
ネジは確実にしめてください。

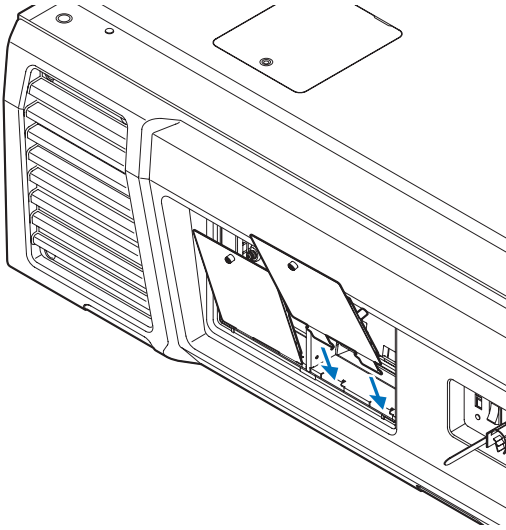


注意

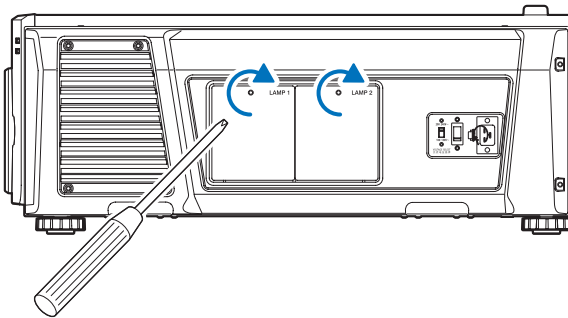
ランプ 1、ランプ 2 の両方が取り付けられていないと、本機の電源を入れてもランプが点灯しません。

4 ランプカバーを取り付ける。

- ① ランプカバーの突起（2箇所）をプロジェクター本体の穴にあわせて、ランプカバーを取り付ける。



- ② ランプカバーの固定用ネジを右に回してしめる。
ネジは確実にしめてください。



これでランプ交換は完了です。引き続き、エアフィルターを交換してください。

- 背面のエアフィルターを交換する (▶ 62 ページ)
- 側面のエアフィルターを交換する (▶ 65 ページ)



- ・ ランプの交換後は、必ず交換したランプの使用時間をリセットしてください。(▶ 50 ページ)
- ・ エアフィルターは必ず両方同時に交換してください。

5. 本体のお手入れ

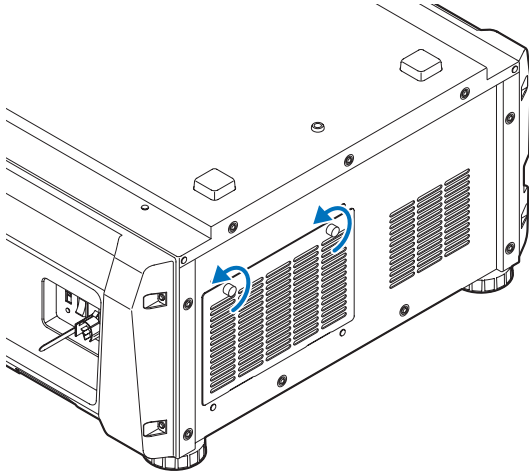
5-3-5. 背面のエアフィルターを交換する

準備：先にランプを交換してください（▶58 ページ）。

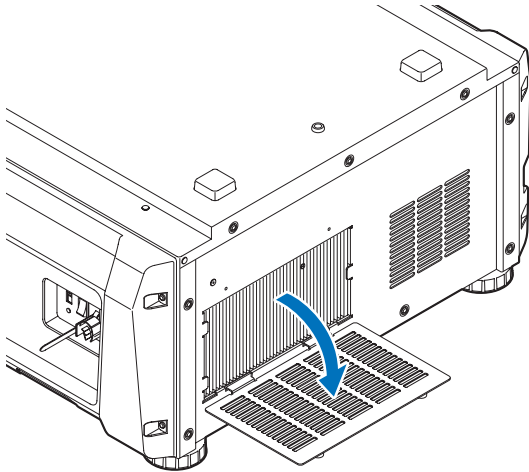
1 フィルターカバーを開ける。

- ① 2箇所のカギを空転するまで左へ回す。

カギは外れません。カギが回らないときは、プラスドライバーを使ってください。

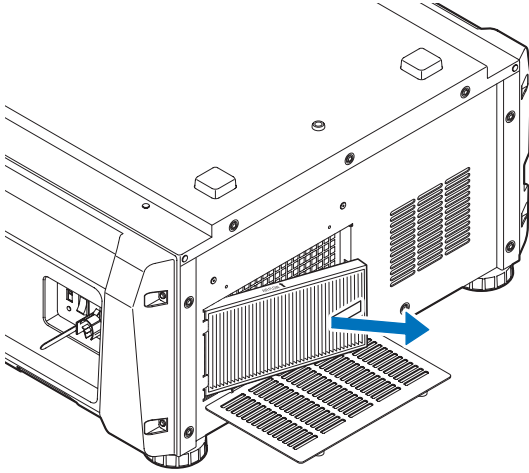


2 フィルターカバーを手前に倒して開ける。



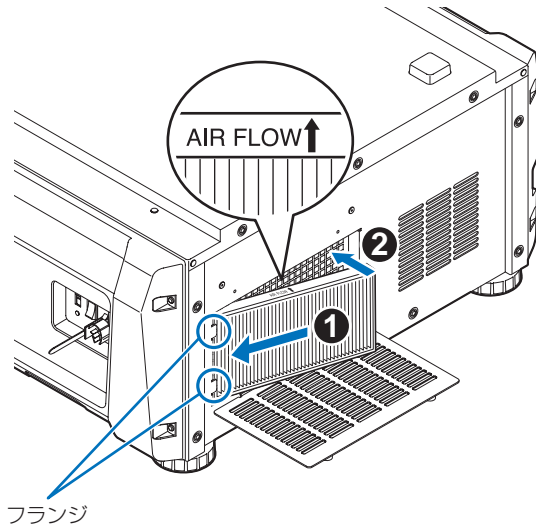
2 エアフィルターを取り外す。

エアフィルターの右端を手前に引いて、取り外します。

**3** エアフィルターを本体に取り付ける。

エアフィルターの側面には、取り付け向きを示す矢印（↑ AIR FLOW）があります。矢印をプロジェクター本体側に向けてください。

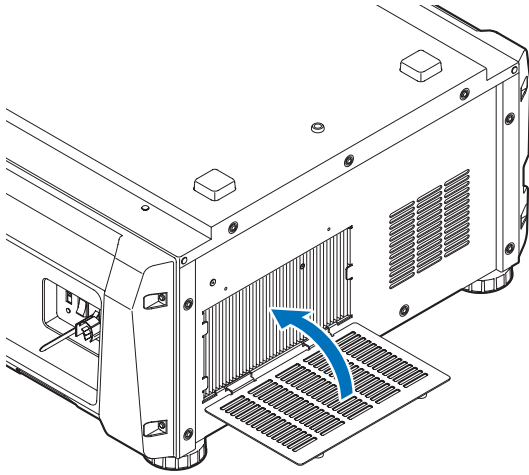
- 1 エアフィルターを吸気口左側のフランジに差し込む。
- 2 エアフィルターの右端を本体吸気口にはめ込む。



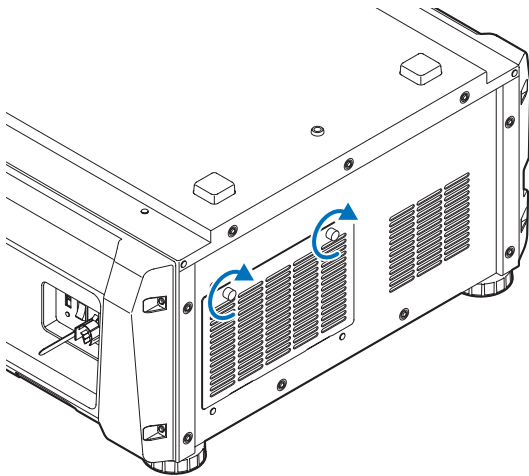
5. 本体のお手入れ

4 フィルターカバーを本体に取り付ける。

- 1 フィルターカバーのツマミを持って、本体に取り付ける。



- 2 2箇所のツマミを右に回して固定する。



これで、背面のエアフィルター交換は完了です。引き続き、側面のエアフィルターを交換してください。

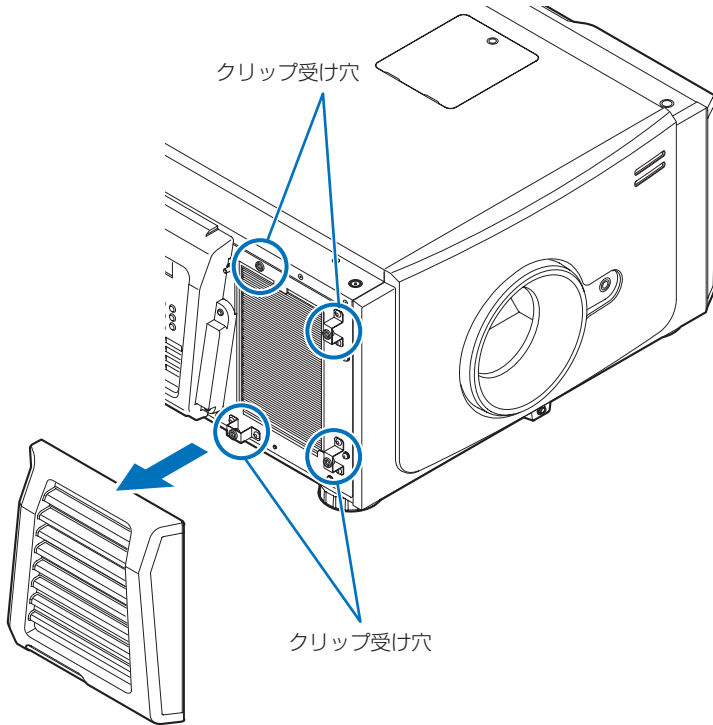
注意 背面フィルターの交換後は、必ず Filter1 の使用時間をリセットしてください。(P.50 ページ)

5-3-6. 側面のエアフィルターを交換する

準備：先にランプを交換してください（☉ 58 ページ）。

❶ フィルターカバーを取り外す。

フィルターカバーはプラスチッククリップ（4箇所）で固定されています。カバーの上下の端を持って、手前に引っ張って外します。

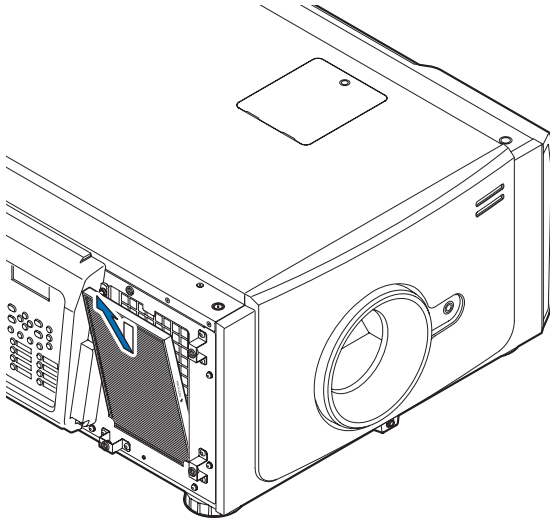


フィルターカバーを外すときは、均等に力をかけて外してください。片方だけに力がかかると、クリップが破損する原因になります。

5. 本体のお手入れ

2 エアフィルターを取り外す。

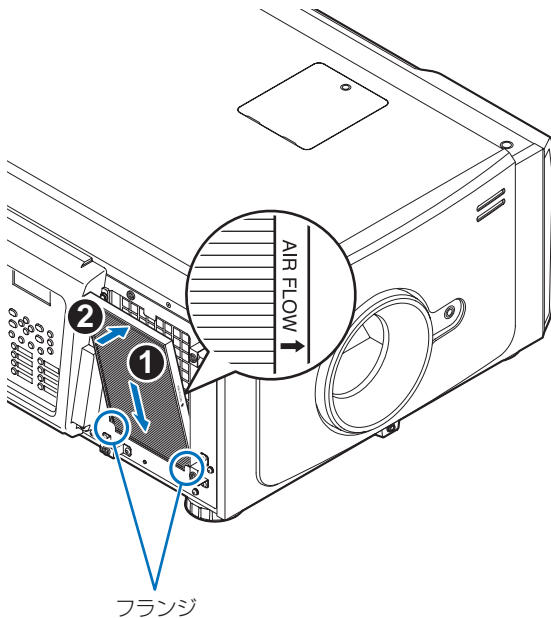
エアフィルターの上部を手前に引き、持ち上げて外します。



3 エアフィルターを本体に取り付ける。

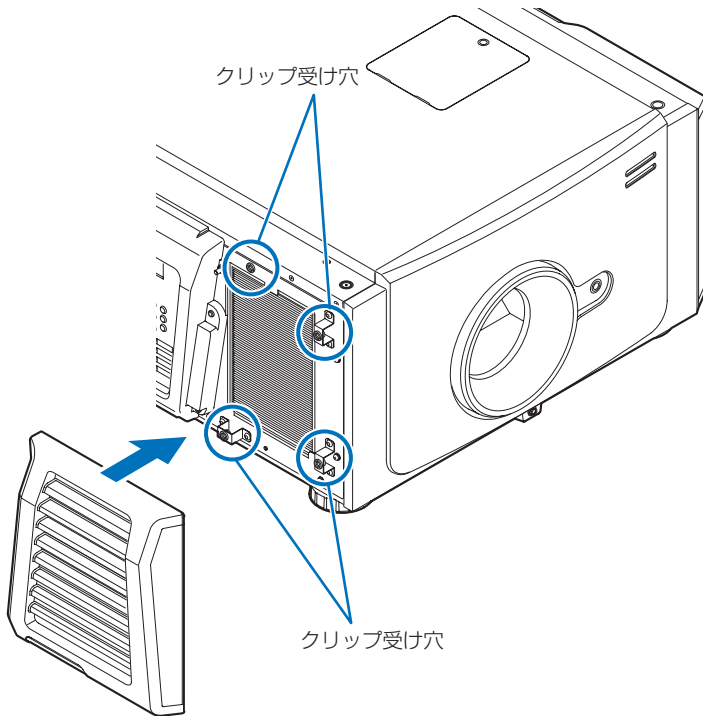
エアフィルターの側面には、取り付け向きを示す矢印（↑ AIR FLOW）があります。矢印をプロジェクター本体側に向けてください。

- 1 エアフィルターを吸気口下側のフランジに差し込む。
- 2 エアフィルターの上端を本体吸気口にはめ込む。



4 フィルターカバーを本体に取り付ける。

- ① プラスチッククリップ（4箇所）の位置をプロジェクター本体のクリップ受け穴に合わせる。
- ② まっすぐ押し込んでフィルターカバーを固定する。



これで、側面のエアフィルター交換は完了です。背面のエアフィルター交換がまだ完了していない場合は、引き続き、背面のエアフィルターを交換してください（▶ 62 ページ）。



側面フィルターの交換後は、必ず Filter2 の使用時間をリセットしてください。（▶ 50 ページ）

5-3-7. ランプ使用時間とエアフィルター使用時間をリセットする

1 本機の電源を入れる。**2** 調整メニューの「Configuration」→「Reset」で、使用時間をリセットする。

- 「Lamp Usage」：ランプ使用時間をリセットする（▶ 50 ページ）
- 「Filter Usage」：エアフィルター使用時間をリセットする（▶ 50 ページ）

これで、ランプ使用時間とエアフィルター使用時間のリセットは完了です。

6.

付 録

6-1. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度設定や操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

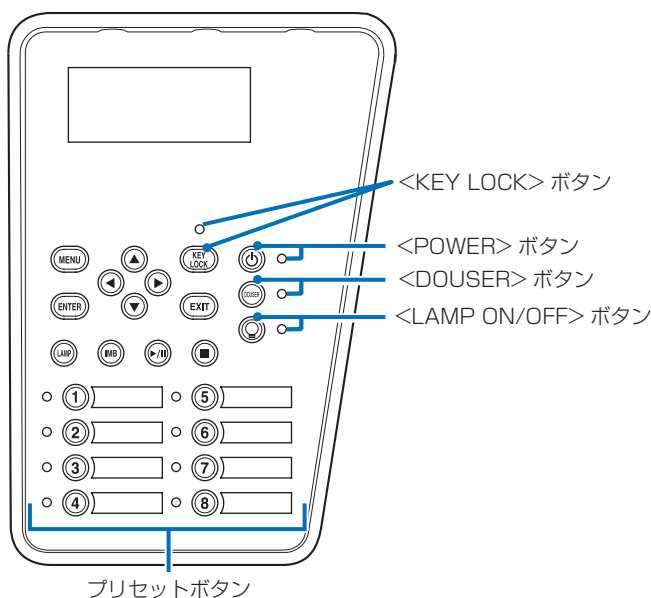
6-1-1. 現象と確認事項

このようなとき	確認してください
電源が入らない	本体へ AC 電源が供給されていますか。
	主電源スイッチは ON になっていますか。
	Panel Key Lock 中ではありませんか。Panel Key Lock 中は、本体の操作ボタンはロックされていて利きません。
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。
	標高約 1600m 以上の高地で本機を使用していませんか。高地で使用する場合は冷却ファンの設定が必要です。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
映像が出ない	接続している入力を選んでいませんか。
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。
	ダウザーが閉じていませんか。
	各設定が正しく調整・設定されていますか。
映像が歪む	正しく設置されていますか。
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。
	投写画面とプロジェクターが正しい角度で設置されていますか。
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。
	レンズなどが結露していませんか。気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。

このようなとき	確認してください
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。
STATUS インジケータが赤色で点滅する	プロジェクターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
エラーコードが表示された	お買い上げの販売店にお問い合わせください。

6-2. インジケータ表示一覧

本体操作部のボタンや、本体後部にあるステータスインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。また、本機にはブザーによる警報機能もあります。



6-2-1. プリセットボタン

インジケータ表示	本機の状態	対 処
消灯	ボタンにタイトルが割り当てられていません。	—
点灯	ボタンにタイトルが割り当てられています。	—
緑色	タイトルが選択されています。	—
白色	タイトルが選択されていません。	—

6-2-2. <KEY LOCK> ボタン

インジケータ表示	本機の状態	対 処
消灯	KEY LOCK 解除状態	—
点灯	オレンジ色	KEY LOCK 有効状態

6. 付 録

6-2-3. <POWER> ボタン

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		プロジェクター電源 OFF	—
点滅	オレンジ色	本体ソフトウェア起動中	しばらくお待ちください。
	緑色 (1 回周期) (注 1)	電源 ON 準備中 / 冷却ファン回転中 (電源を OFF にしてからスタンバイ状態になるまでの状態)	しばらくお待ちください。
	緑色 (2 回周期) (注 2)	電源を OFF できない状態 (ランプ点灯直後またはランプモード変更直後)	しばらくお待ちください。 (最長約 90 秒)
	緑色 (注 3)	スリープタイマー有効時	—
点灯	緑色	電源 ON 状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—

(注 1) 0.5 秒点灯 → 0.5 秒消灯を繰り返します。

(注 2) 0.5 秒点灯 → 1.5 秒消灯を繰り返します。

(注 3) 2.5 秒点灯 → 0.5 秒消灯を繰り返します。

6-2-4. <DOUSER> ボタン

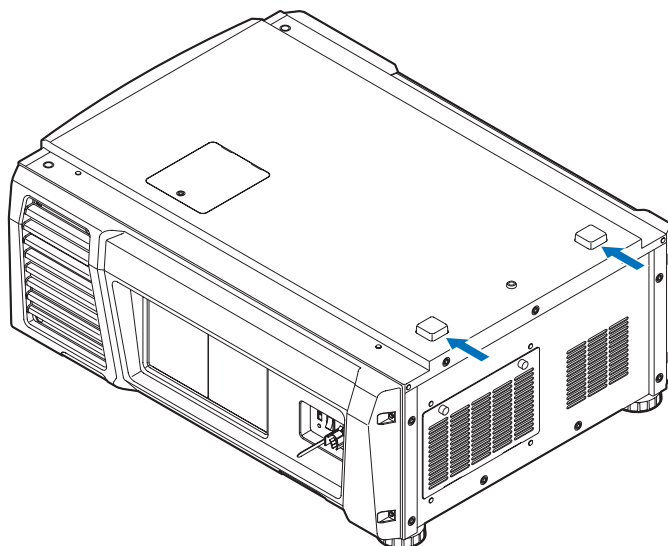
インジケータ表示		本機の状態	対 処
点灯	緑色	ダウザー ON	—
消灯		ダウザー OFF	—

6-2-5. <LAMP ON/OFF> ボタン

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		ランプ OFF	—
点灯	緑色	ランプ ON (Dual/Lamp 1/Lamp 2)	—
点滅	緑色 (2 回周期) (注 1)	ランプ ON/OFF およびランプモードの変更ができない状態 (ランプ点灯 / 消灯直後、またはランプモード変更直後)	しばらくお待ちください。 (最長約 90 秒)

(注 1) 0.5 秒点灯 → 1.5 秒消灯を繰り返します。

6-2-6. ステータスインジケータ



インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		主電源 OFF	—
点滅	緑色	電源 ON 準備中、ダウザー ON、ランプ OFF	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	赤色（ブザーあり）	安全性に問題がある異常あり	液晶画面にエラーメッセージが表示されます。エラー内容を確認してください。
	赤色（ブザーなし）	条件付きで映写可能な異常あり	液晶画面にエラーメッセージが表示されます。エラー内容を確認してください。
点灯	緑色	電源 ON 状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—
	赤色	映写に支障のないレベルの異常あり	液晶画面にエラーメッセージが表示されます。エラー内容を確認してください。

6-3. HTTP を使用したブラウザによる操作

6-3-1. 概 要

HTTP サーバ機能を使用することにより、Web ブラウザからプロジェクターを操作することができます。なお、Web ブラウザは「Microsoft Internet Explorer 4.x」以上を必ず使用してください。

HTTP サーバ機能は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

注意

ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。

その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、プロジェクターとネットワークで接続されたパソコンで Web ブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

と指定することで行えます。

6-3-2. 使用前の準備

ブラウザによる操作を行う前にあらかじめプロジェクターに対して、ネットワークとの接続と設定を行ってください。

プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。極力プロキシサーバは使用されないことを推奨します。

6-3-3. ブラウザによる操作のアドレスの扱い

ブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインサーバへプロジェクターの IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、もしくは使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルにプロジェクターの IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

(例 1) プロジェクターのホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合

HTTP サーバ機能へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ

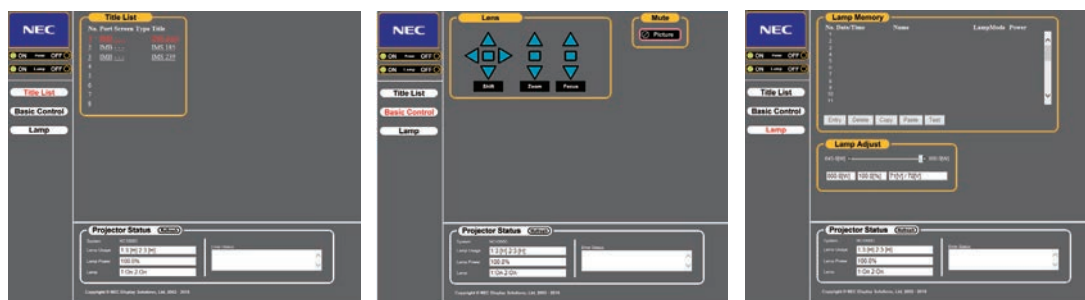
http://pj.nec.co.jp/index.html と指定します。

(例 2) プロジェクターの IP アドレスが「192.168.10.10」の場合

HTTP サーバ機能へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ

http://192.168.10.10/index.html と指定します。

6-3-4. HTTP サーバの構造



Power		<p>プロジェクターの電源をオン/オフします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ On : 電源をオンにします。 ・ Off : 電源をオフにします。
Lamp		<p>ランプを点灯/消灯します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ On : ランプを点灯します。 ・ Off : ランプを消灯します。
Title List		<p>プロジェクターにセットされているタイトル（入力ポート、スクリーンタイプ、タイトル）を表示します。</p> <p>クリックするとタイトルが切り替わります。</p>
Basic Control		基本的な制御項目が表示されます。
Lens	Shift	<p>レンズ操作を制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲ : 投写位置を上へ移動します。 ▼ : 投写位置を下へ移動します。 ◀ : 投写位置を左へ移動します。 ▶ : 投写位置を右へ移動します。 ■ : 投写位置の移動を停止します。 <p>移動中に、同じボタンをもう一度クリックすると移動が停止します。</p>
	Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ▲ : ズームインします。 ▼ : ズームアウトします。 ■ : ズームイン/ズームアウトを停止します。 <p>ズームイン/ズームアウト中に、同じボタンをもう一度クリックするとズームイン/ズームアウトが停止します。</p>
	Focus	<ul style="list-style-type: none"> ▲ : フォーカスを遠距離方向へ移動します。 ▼ : フォーカスを近距離方向へ移動します。 ■ : フォーカスの移動を停止します。 <p>フォーカスの移動中に、同じボタンをもう一度クリックするとフォーカスの移動が停止します。</p>
Mute	Picture	<p>クリックするとダウザーが閉じて映像が一時的に消えます。もう一度クリックすると再び映像が投写されます。</p>
Projector Status		<p>プロジェクターの状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lamp Usage : ランプの使用時間を表示します。 ・ Lamp Power : ランプの出力 (%) を表示します。 ・ Lamp Status : ランプの状態 (On : 点灯 / Off : 消灯) を表示します。 ・ Error Status : プロジェクター内部のエラー発生状況を表示します。 ・ Refresh : 状態表示を更新します。
Lamp Memory	Entry	現在のランプモードおよびランプ出力値をメモリに保存します。
	Delete	リスト上で選択したメモリを Lamp Memory から削除します。
	Copy	リスト上で選択したメモリをコピーします。
	Paste	リスト上で選択したメモリに、コピーしたメモリを保存 / 上書きします。
	Test	リスト上で選択したメモリの調整値をテストします。

6-4. ログファイルの書き出し (Save Information)

本体に保存されたログファイルを本体の USB ポートに接続している USB メモリに書き出すことができます。ログファイルの書き出しは次の手順で行います。

1 本体の USB ポートに USB メモリを接続します。

USB メモリが認識され、使用できる状態になるまでお待ちください (5 秒以上)。詳しくは、USB メモリの取扱説明書を参照してください。

2 <UP> ボタンと <ENTER> ボタンを同時に押します。

“Save Info.” 画面が表示されます。

```

** Save Info. **
  Date Filter
  ◀ Today ▶
*****

```

参考

操作中に <EXIT> ボタンを押すと、操作を中止して通常時の画面に戻ります。

3 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、ログファイルを書き出す期間を選択します。

選択できる項目は次のとおりです。

Today	本日分のログファイルを書き出します。
7days	本日から過去 1 週間分のログファイルを書き出します。
30days	本日から過去 30 日分のログファイルを書き出します。
2years	本日から過去 2 年分のログファイルを書き出します。
Manual	指定した期間のログファイルを書き出します。

4 <ENTER> ボタンを押します。

“Today”、“7days”、“30days”、“2years” を選択した場合、ログファイルを書き出す期間が表示されます。

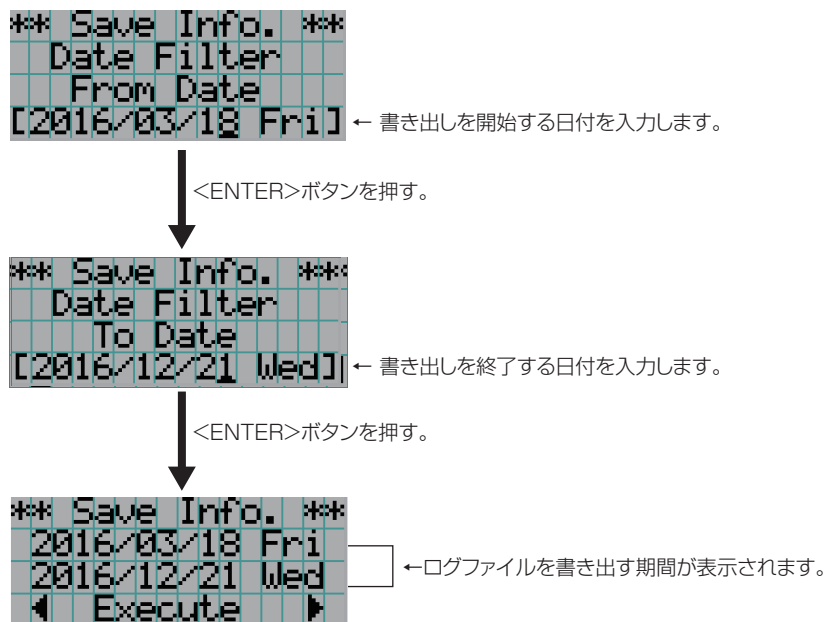
```

** Save Info. **
 2016/03/11 Fri
 2016/03/18 Fri
  ◀ Execute ▶

```

←ログファイルを書き出す期間が表示されます。

“Manual” を選択した場合、ログファイルを書き出す期間を設定します。数字の入力方法については、「4-1-3. 英数字の入力方法」(45 ページ) を参照してください。<ENTER> ボタンを押すと、次のように画面が進みます。



5 ログファイルを書き出す期間を確認したら、<LEFT/RIGHT> ボタンを押して “Execute” を選択して、<ENTER> ボタンを押します。

設定した期間のログファイルを USB 機器に書き出します。書き出しが完了すると、次の画面が表示されます。

```

** Save Info. **
Complete(USB)
<OK>
*****

```

参考

“Cancel” を選択して <ENTER> ボタンを押すと、ログファイルの書き出しを中止して、通常時の画面に戻ります。

6 <ENTER> ボタンを押します。

通常時の画面に戻ります。

```

|| LamF1&2 100.0% ||
||          5H:   5H ||
||          Title  ||
||          IMB   ||

```

7 USB メモリを本体の USB ポートから取り外します。

6. 付 録

6-4-1. ログファイルのファイル名

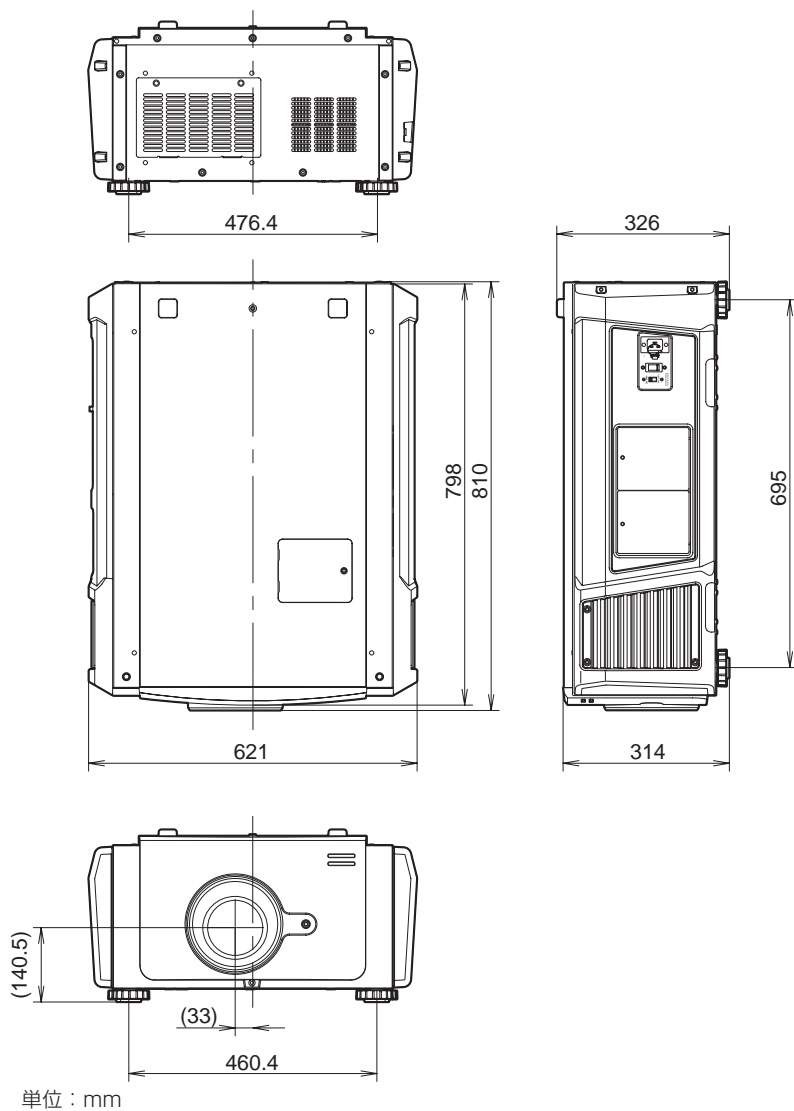
書き出したログファイルは、次のファイル名で保存されます。

(モデル名)_(シリアル番号)_YYMMDDHHmm.txt

(モデル名)	プロジェクターの機種を示します。
(シリアル番号)	プロジェクターのシリアル番号を示します。
YYMMDDHHmm	書き出した日付を示します。 YY: 年 (2桁) MM: 月 (2桁) DD: 日 (2桁) HH: 時 (2桁) mm: 分 (2桁)

たとえば、2016/6/1 14:05にNC1000Cのログファイルを書き出した場合は、「NC1000C_abcd1234_1606011405.txt」のファイル名で保存されます。

6-5. 外観図



6-6. 仕様

機種名	NC1000C
投写方式	3 チップ DLP Cinema® 方式 0.69 インチ DC2K チップ
パネル解像度	2048 x 1080
ランプ	400W AC ランプ
スクリーン幅	最大 10.6m @14ft-L/Screen Gain 1.8 (設置条件による)
コントラスト比	1600:1 with DCI specified color representation
レンズ調整機能	電動レンズシフト (縦/横)、電動ズーム、電動フォーカス、ダウザー
信号入力端子 (スロット)	工場出荷時 空き (別売オプション搭載用) (注 1)
外部コントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・ RS-232C (D-sub 9pin) x 1 ・ GPIO ポート (D-sub 37pin) x 1 ・ 3D CTL (D-sub 15pin) x 1 ・ USB (Type A) x 1 ・ サービス専用端子 (ステレオミニジャック) x 1 ・ Ethernet ポート (G-bit RJ-45) x 1 ・ インターロック端子 x 1
電源	AC100-130V 50/60 Hz 単相 AC200-240V 50/60 Hz 単相
入力電流	12.2-9.0A (100-130V) (注 3) 5.8-4.8A (200-240V) (注 3)
消費電力	1210W (100-130V) (注 2) 1135W (200-240V) (注 2)
冷却方式	空冷システム (防塵フィルター付き)
騒音レベル	48dB 以下
設置方式	デスク/フロント、デスク/リア、天吊り/フロント、天吊り/リア
質量	44kg (レンズを除く)
外形寸法	621mm (幅) x 798mm (奥行) x 314mm (高さ) (突起部含まず。脚部含む。)
使用環境	動作温度：10 ~ 35℃ 動作湿度：10 ~ 85% (ただし結露しないこと) 保存温度：-10 ~ 50℃ 保存湿度：10% ~ 85% (ただし結露しないこと) 動作高度：0 ~ 3000m (1600 ~ 3000m は Fan Speed Mode 「High Altitude」 に設定時)

(注 1) 工場出荷時には、映像信号入力端子が実装されていません。別売のオプションボードを取り付けることにより、入力端子を追加できます (P.88 ページ)。

(注 2) 数値は代表値です。

(注 3) 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品。

※この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

6-7. 電源コード

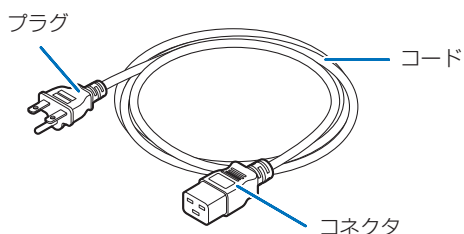
注意 電源コードの選定および手配については、販売店にご依頼ください。

電源コードの電氣的仕様

AC 電源コードを接続するため、本機は IEC60320 C19 コネクタを装備しています。本機に装備されているコネクタと AC 電源設備を接続する AC 電源コードは、次に示す電流容量を確保してください。

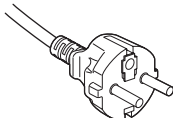

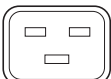
電源電圧	プロジェクターの流入電流	電源コードの電流容量
AC 100V-130V	12.2-9.0A	125V 15A 以上 250V 15A 以上
AC 200V-240V	5.8-4.8A	250V 15A 以上

電源コードの形状

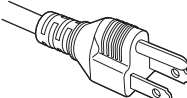

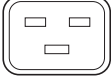


次の表に示すとおり、設置国の規格に適合するプラグ、コード、コネクタを使用してください。

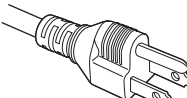

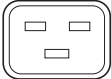
ドイツ

プラグ	コード	コネクタ
CEE 7 	H05VV-F 3G1.5 	IEC 320 C19 

米国

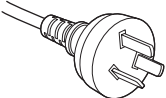

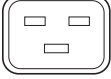
プラグ	コード	コネクタ
NEMA 5-15P 	SJT 3 x AWG14 	IEC 320 C19 

日本

プラグ	コード	コネクタ
JIS C 8303 	VCTF 3 x 2.0 mm 	IEC 320 C19 

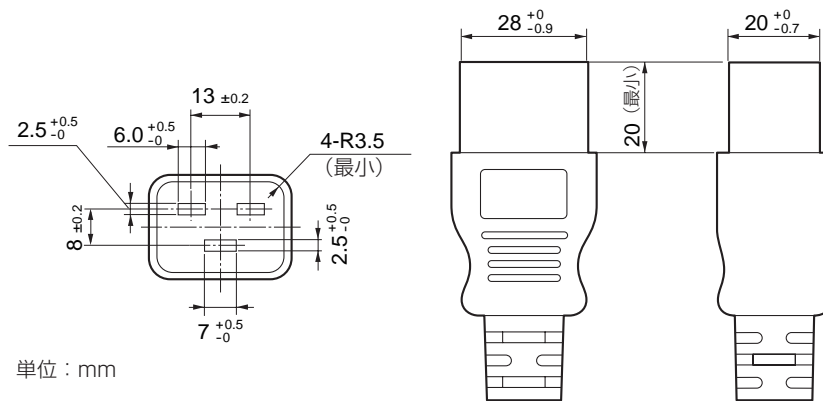
6. 付 録

中国

プラグ	コード	コネクタ
GB2099 	RVV 300/500 	GB17465.1 

コネクタ

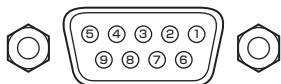
本機に接続する部分のコネクタの寸法に合った物をお使いください。



6-8. 端子のピン配列と機能

6-8-1. PC コントロール端子 (RS-232) (D-sub9 ピン)

パソコンでプロジェクター本体をコントロールするための RS-232C インターフェイスです。プロジェクターは、データ通信装置 (DCE : Data Communication Equipment) として動作しますので、パソコンと接続する場合はストレートケーブルを使用します。



ピン番号	RS-232C 信号名	RS-232C としての機能	プロジェクターの端子動作
1	CD	キャリア検出	未使用 (N.C.)
2	RXD	受信データ	外部へデータ送信
3	TXD	送信データ	外部からデータ受信
4	DTR	データ端末レディ (注)	6 ピンと接続
5	GND	信号 GND	信号 GND
6	DSR	データセットレディ (注)	4 ピンと接続
7	RTS	送信要求	SYSTEM : Hi-Z (未使用) CINEMA : Hi-Z (使用)
8	CTS	送信可	SYSTEM : -6.5V 固定 (未使用) CINEMA : ± 10.5V (使用 : 通信状態による)
9	RI	リングインジケータ	未使用 (N.C.)

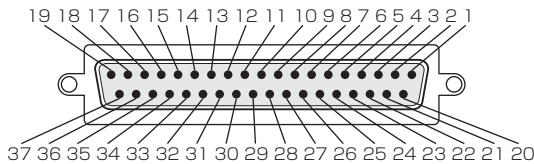
(注) 通信を行う際 DTR、DSR 信号は使用しません。

6. 付 録

6-8-2. 外部コントロール端子 (GP I/O) (D-sub37 ピン)

外部コントロール端子 (GPIO : General Purpose I/O Ports) を使って外部機器等でプロジェクターをコントロールしたり、プロジェクターから外部機器をコントロールしたりすることができます。各ピンはフォトカプラによってプロジェクター内部回路とは電気的に分離しており、入力 8 ポートと出力 8 ポートを備えています。

使用方法、操作方法の詳細については販売店にお問い合わせください。



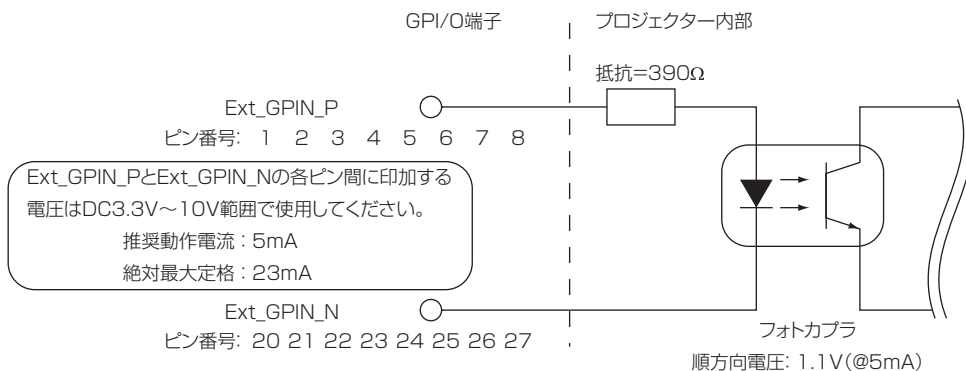
メスコネクタのピン配列

ピン番号	信号名	入出力	ピン番号	信号名	入出力
1	GPIN1+ (3D L/R Input Reference +)	IN	20	GPIN1- (3D L/R Input Reference -)	IN
2	GPIN2+ (3D L/R Display Reference +)	IN	21	GPIN2- (3D L/R Display Reference -)	IN
3	GPIN3+ (システム予約)	IN	22	GPIN3- (システム予約)	IN
4	GPIN4+ (システム予約)	IN	23	GPIN4- (システム予約)	IN
5	EXT_GPIN1+ (Control and Title Selection +)	IN	24	EXT_GPIN1- (Control and Title Selection -)	IN
6	EXT_GPIN2+ (Control and Title Selection +)	IN	25	EXT_GPIN2- (Control and Title Selection -)	IN
7	EXT_GPIN3+ (Control and Title Selection +)	IN	26	EXT_GPIN3- (Control and Title Selection -)	IN
8	EXT_GPIN4+ (Control and Title Selection +)	IN	27	EXT_GPIN4- (Control and Title Selection -)	IN
9	GPOUT1+ (External 3D L/R Output Reference +)	OUT	28	GPOUT1- (External 3D L/R Output Reference -)	OUT
10	GPOUT2+ (システム予約)	OUT	29	GPOUT2- (システム予約)	OUT
11	GPOUT3+ (システム予約)	OUT	30	GPOUT3- (システム予約)	OUT
12	GPOUT4+ (Internal 3D L/R Output Reference +)	OUT	31	GPOUT4- (Internal 3D L/R Output Reference -)	OUT
13	EXT_GPOUT1+ (Projector Ready/Busy +)	OUT	32	EXT_GPOUT1- (Projector Ready/Busy -)	OUT
14	EXT_GPOUT2+ (Projector Error Status +)	OUT	33	EXT_GPOUT2- (Projector Error Status -)	OUT
15	EXT_GPOUT3+ (IMB Play/End Status +)	OUT	34	EXT_GPOUT3- (IMB Play/End Status -)	OUT
16	EXT_GPOUT4+ (Projector Heartbeat +)	OUT	35	EXT_GPOUT4- (Projector Heartbeat -)	OUT
17	NC (未接続)	-	36	NC (未接続)	-
18	GND	PWR	37	GND	PWR
19	GND	PWR	-	-	-

EXT_GPIN1 ~ EXT_GPIN4 : 入力信号 (High/Low) の組み合わせにより、外部からプロジェクターを制御できます。(プロジェクター電源 / ランプの点灯 (または消灯) / 映像ミュート / タイトル選択)

EXT_GPOUT1 ~ EXT_GPOUT4 : 表に記載されている機能は初期設定です。割り当てられた機能は変更できます。

入力端子



● GPIO コントロールを使用する

ON パルスを GPIO ポートに入力することにより、プロジェクターの制御ができます。

ON パルスを有効にするには、500ms 以上のパルス幅が必要です。また、ON パルスを入力するまえに 500ms 以上の OFF を保持する必要があります (84 ページ)。

GPIO ポートを使ったプロジェクター制御の機能一覧を次に示します。

ピン番号	フォトカプラ ON/OFF				機能
1-20	ON/OFF				3D L/Rタイミング信号入力ON/OFF
2-21	ON/OFF				3D L/R表示タイミング信号入力ON/OFF
3-22	-				システム予約(内部で使用)
4-23	-				システム予約(内部で使用)
5-24	8-27	7-26	6-25	5-24	入力端子の組み合わせによって、以下の機能になります。
6-25	OFF	OFF	OFF	ON	電源ON
7-26	OFF	OFF	ON	OFF	電源OFF
8-27	OFF	OFF	ON	ON	ランプON
	OFF	ON	OFF	OFF	ランプOFF
	OFF	ON	OFF	ON	映像ダウザーON
	OFF	ON	ON	OFF	映像ダウザーOFF
	OFF	ON	ON	ON	システム予約(内部で使用)
	ON	OFF	OFF	OFF	プリセットボタン1に登録しているタイトルを選択
	ON	OFF	OFF	ON	プリセットボタン2に登録しているタイトルを選択
	ON	OFF	ON	OFF	プリセットボタン3に登録しているタイトルを選択
	ON	OFF	ON	ON	プリセットボタン4に登録しているタイトルを選択
	ON	ON	OFF	OFF	プリセットボタン5に登録しているタイトルを選択
	ON	ON	OFF	ON	プリセットボタン6に登録しているタイトルを選択
	ON	ON	ON	OFF	プリセットボタン7に登録しているタイトルを選択
	ON	ON	ON	ON	プリセットボタン8に登録しているタイトルを選択

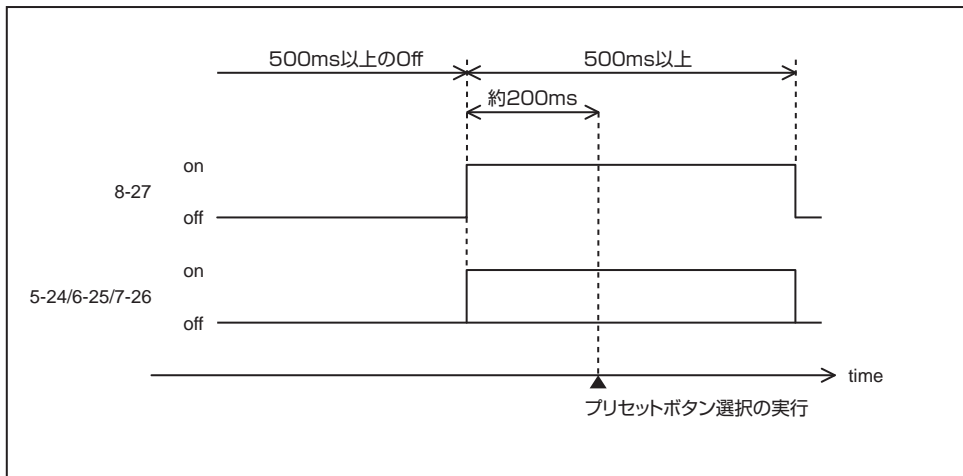
映像をミュート (映像ダウザー ON) にする場合 : 6-25 と 8-27 を OFF にした状態で、5-24 と 7-26 に ON を入力する。
プリセットボタン 2 を選択する場合 : 6-25 と 7-26 を OFF にした状態で、5-24 と 8-27 に ON を入力する。



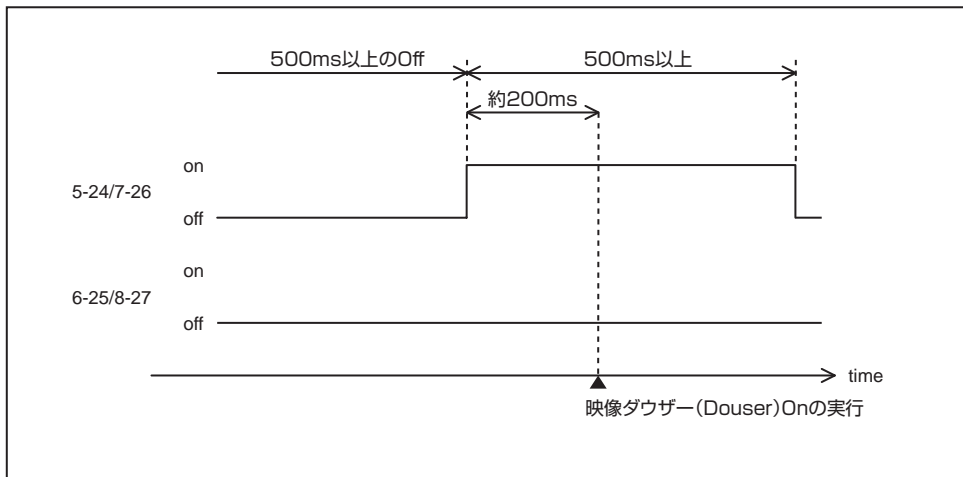
- ・ ランプのクーリング中やタイトル切り替え中などプロジェクターが別の処理を実行している場合、GPIOポートから入力された操作コマンドはキャンセルされます。
- ・ 操作対象以外のピンは OFF に設定する必要があります。
- ・ 操作コマンドが実行されるタイミングは、ON パルスが連続で約 200 ms 入力されたタイミングになります。

● GPIO コントロールのタイミングチャート

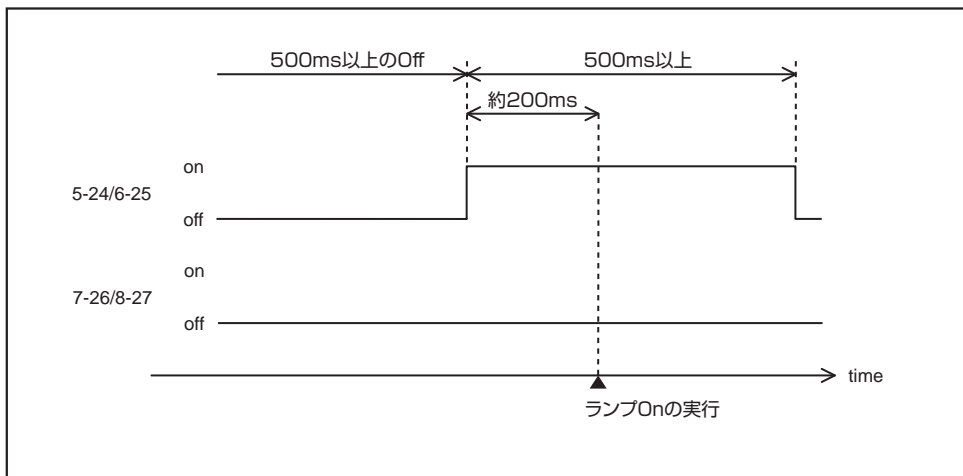
プリセットボタン選択の例



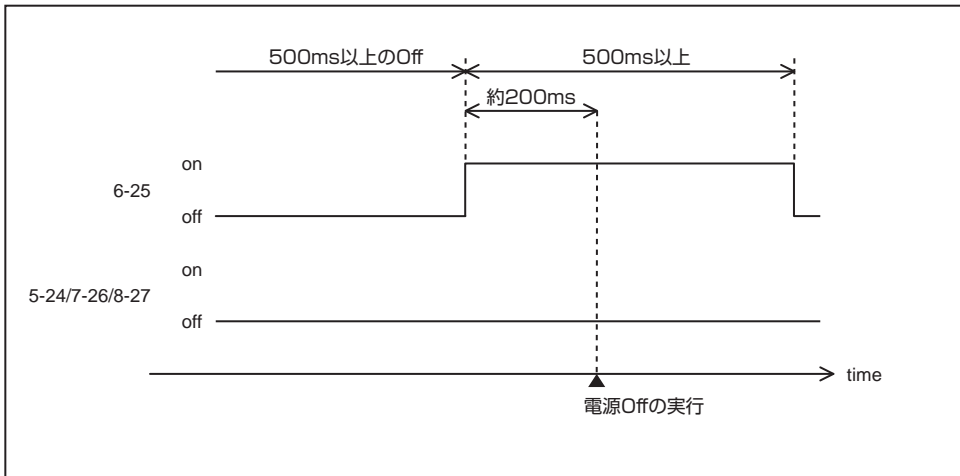
映像ダウザー(Douser)Onの例



ランプOnの例



電源Offの例



出力端子



● GPIO コントロールを使用する

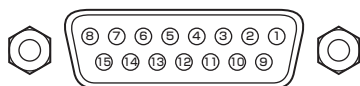
プロジェクターのヘルスチェックやエラーチェックなどに使用します。また、出力された内容をトリガーとして、外部の装置を制御できます。

初期設定では、ピン番号 13-32/14-33/15-34/16-35 (EXT_GPOUT1 ~ EXT_GPOUT4) に以下の機能が割り当てられています。割り当てられた機能は変更できます。

ピン番号	フォトカブラ ON / OFF	機能
9-28	ON / OFF	外部 3D L/R タイミング信号出力 ON / OFF
10-29	—	システム予約 (内部で使用)
11-30	—	システム予約 (内部で使用)
12-31	ON / OFF	内部 3D L/R タイミング信号出力 ON / OFF
13-32	ON / OFF	GPIO コントロールの状態確認 ON: GPIO コントロール (入力) を使用できません。 OFF: GPIO コントロール (入力) を使用できます。
14-33	ON / OFF	エラーチェック ON: エラーあり OFF: エラーなし
15-34	ON / OFF	IMB の状態確認 ON: コンテンツ再生中 OFF: 停止 / 一時停止中
16-35	ON / OFF	ヘルスチェック (ハートビート) 正常に動作している場合、ON / OFF が交互に出力されます。

6-8-3. 3D 端子 (3D) (D-sub15 ピン)

プロジェクターに 3D 映像システムを接続するときに使用します。



メスコネクタのピン配列

ピン番号	信号名	入出力	説明
1	+12V	PWR	3D映像システムに電源(+12V)を供給
2	GNDC	GND	グランド
3	GNDC	GND	グランド
4	RS232_RX	IN	3D映像システムからの受信データ (1200 Baud, 8 bits, No Parity)
5	RS232_TX	OUT	3D映像システムへの送信データ (1200 Baud, 8 bits, No Parity)
6	CONN_3D_MODE+	OUT	3Dモード状態(+) (プロジェクター内部で、フォトカブラの出力側トランジスタのコレクタに接続)
7	CONN_SYNC+	OUT	3D L/R切り替えタイミング信号(+) (プロジェクター内部で、フォトカブラの出力側トランジスタのコレクタに接続)
8	3D_INPUT_REFERENCE+	IN	3D L/Rタイミング信号(+) (プロジェクター内部で、フォトカブラの入力側ダイオードのアノードに接続)
9	+12V	PWR	3D映像システムに電源(+12V)を供給
10	3D_INPUT_REFERENCE-	IN	3D L/Rタイミング信号(-) (プロジェクター内部で、フォトカブラの入力側ダイオードのカソードに接続)
11	3D_DISPLAY_REFERENCE+	IN	3D L/R表示タイミング信号(+) (プロジェクター内部で、フォトカブラの入力側ダイオードのアノードに接続)
12	3D_DISPLAY_REFERENCE-	IN	3D L/R表示タイミング信号(-) (プロジェクター内部で、フォトカブラの入力側ダイオードのカソードに接続)
13	CONN_3D_MODE-	OUT	3Dモード状態(-) (プロジェクター内部で、フォトカブラの出力側トランジスタのエミッタに接続)
14	CONN_SYNC-	OUT	3D L/R切り替えタイミング信号(-) (プロジェクター内部で、フォトカブラの出力側トランジスタのエミッタに接続)
15	N/C	-	未接続

6-9. 関連商品一覧

商品名		レンズ メモリ	形名
レンズ	Zoom lens 1.63 ~ 2.03	-	NP-9LS16Z1
	Zoom lens 2.03 ~ 2.72	-	NP-9LS20Z1
	Zoom lens 4.07 ~ 6.34	-	NP-9LS40Z
	Zoom lens 1.2 ~ 1.72	○	NP-9LS12ZM1
	Zoom lens 1.33 ~ 2.1	○	NP-9LS13ZM1
	Zoom lens 1.62 ~ 2.7	○	NP-9LS16ZM1
	Zoom lens 2.09 ~ 3.9	○	NP-9LS20ZM1
	Zoom lens 4.07 ~ 6.34	○	NP-9LS40ZM1
交換用ランプ	Replacement Lamp		NP-10LP01
交換用エアフィルター	Replacement Filter		NP-9AF01
交換用ランプユニットとエアフィルター (一式)	Replacement Lamp and Filter		NP-10LF01
インテグレートッド・メディア・サーバ	Integrated Media Server		NP-90MS02

6-10. 索引

数字・アルファベット

3D 端子 17, 87

【A】

AC IN 端子 15

Adjust 35, 48

【C】

Configuration 48

【D】

DOUSER ボタン 19, 70

【E】

ENTER ボタン 18

Error Code 52

EXIT ボタン 18

【F】

Filter Cleaning 50

Filter Usage 50

Focus 34, 49

【G】

GP I/O 17, 82

【H】

HTTP サーバ機能 72

【I】

IMB 17, 19, 26, 53

IMB ボタン 19

Information 51

IP Address 53

【K】

KEY LOCK 37

KEY LOCK ボタン 18, 69

【L】

Lamp 51

Lamp Mode 36, 48

LAMP ON/OFF ボタン 19, 38, 70

Lamp Setup 48

Lamp Usage 50

LAMP ボタン 19

LAN ポート 17, 26

Lens Control 49

Lens Position 33, 49

Lens Type 51

【M】

MENU ボタン 18

【O】

Option Status 54

Output 51

【P】

PC コントロール端子 17, 26, 81

POWER ボタン 18, 70

Preset Button 52

【R】

REMOTE 17

Reset 50

RS-232 17, 26, 81

【S】

Save Information 74

Serial 51

Setup Date 53

System 53

【T】

Test Pattern 47

Title Memory 47

6. 付 録

Title Select.....	47
Title Setup.....	51

【U】

Usage	52
USB ポート.....	17

【V】

Version	53
Voltage.....	51

【Z】

Zoom.....	34, 49
-----------	--------

五十音順

【あ行】

アジャスター	16
インターロック端子.....	14
エアフィルター.....	14, 15
エアフィルター交換.....	57, 62, 65
英数字の入力方法.....	45
液晶表示画面	18

【か行】

外部コントロール端子.....	17, 82
吸気口.....	14, 15
コネクタ	80

【さ行】

主電源スイッチ.....	15, 29
ズーム.....	34
スタンバイ状態.....	15, 18, 29
ステータスインジケータ.....	14, 71
スロット	17
接続端子部	14

【た行】

ダウザー	19
調整メニュー	41, 46
手掛け.....	16

テストパターン.....	32
電源コード	21, 25, 79
電源コードストッパー.....	15, 24, 25
電源電圧切替スイッチ.....	15, 23, 28

【な行】

ノッチフィルター.....	14
---------------	----

【は行】

排気口.....	15
フォーカス	34
ブザー	15
プリセットボタン.....	19, 31, 69
本体操作部	18

【ら行】

ランプカバー	15
ランプ交換	56, 58
ランプ出力	35
ランプモード	36
レンズ.....	14
レンズシフト	33
レンズタイプ	51
ログファイル	74, 76

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保存してください。

●保証期間

本体:お買い上げ日から2年間です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはシャープNECディスプレイソリューションズ株式会社にお問い合わせいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(68 ページ)に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DLP Cinema® プロジェクター	
形名	NP-NC1000C	
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お名前		
電話番号		
訪問ご希望日		

べんり	お買い上げ	☎() -
メモ	店名	

修理料金の仕組み

- ・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+
- ・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+
- ・出張料
製品を引き取りする、製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社
国内販売本部

TEL:044-435-1839